


わがまち 大好き! 大²作戦 おおづだいさくせん

大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画



平成21年3月

 大津町

 社会福祉
法人 大津町社会福祉協議会

大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画



この計画は、大津町での地域福祉（地域支え合い）を進めるための方策をまとめたものです。

策定にあたっては、平成18年度から始めたモデル地区での住民座談会（ワークショップ）等の取り組みを踏まえ、出来るだけ地域住民の視点でまとめました。

そして、役場・社会福祉協議会が協働するとともに住民とのパートナーシップ（気持ち合わせ・力合わせ）で、大津町をより住みよい町としていくことを目的にしています。





町長メッセージ

私たちのまわりには、様々な困りごとがあります。

「ひとり暮らしのお年寄りがゴミ出しに困っている」「小学校の登下校の安全が心配」「障がいをお持ちの方が気軽に参加できる地域活動があればいい」

こうした困りごとを解決し、子どもからお年寄りまで誰もが安心して充実した生活を送るためには、地域内のお互いのつながりを大切にする活動を行っていくことが重要になります。

この計画では「誰もが安心・安全に、健康で充実して暮らせる地域であること」を目指して、地域住民・社協・役場がそれぞれの立場で地域の困りごと解決に向けて取り組むこととし、モデル地区の事例を紹介しています。

町としては、このような地域での取り組みをより一層支援して参りますので、各地域におかれましても、気配り・目配りで、見守り・思いやり行動を行う、

この「わがまち大好き！あつたいてくせん大²作戦」に、

住民の皆様の参加とご協力をお願い申し上げます。

最後に、この計画を策定するにあたり活発なご議論をいただいた策定委員の皆様をはじめ、真摯に実践いただいたモデル地区である森区、多々良区、楽善区、大津東区、南杉水地区(源場区、つつじ台区、桜丘区)の皆様方に心から感謝申し上げます。

平成21年3月

大津町長 家入 勲



策定委員長メッセージ

「あそこの家の前には犬がおるけん。静かに通らんと吠えられるよ」
「よし、これから6年生だけに駄菓子屋のくじ引きで、アタリを出す方法を教えてやる」
「えー、おじさんも野球すると？ いいけど打順は最後ね」
キラキラと輝くような夕方の風景。30数年前、放課後の豊かな時間がそこにはありました。
優しく知らん振りをしながら見守ってくれた、あの頃の大人のようになりたい。放課後のこどもたちが安心して寄り道できる地域づくりをしたい。そんな夢を抱き、大津町で現在の仕事に就きました。
ところが現実には、簡単なものではありませんでした。社会環境の変化にともない、「安心・安全の確保」に重点を置かざるを得ない状況が続いています。外部との関わりをできるだけ排除した囲い込まれた温室の中でないと、こどもたちを守っていけないという方向に進んでいるのかもしれない。こんな今だからこそ、地域の力が必要なのだと強く感じています。
私はこの計画策定に関わらせていただく中で、大津町の可能性に夢をかけ続けていける確信を持ちました。大津町の本当の豊かさとは何か？この計画書が議論の始まりになれば幸いです。
最後に、計画策定に際しまして多くの方々のご指導・ご支援を頂き、誠にありがとうございました。

平成21年3月

大津町地域福祉計画等策定委員会

委員長 江口 竜一

大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画

目 次

◇第1部 ことの始まり 9

第1幕 計画づくりのはじまり

- 第1場 大津で起こっていることから
- 第2場 なんとかせんと！の会議
- 第3場 計画の目的
- 第4場 計画の位置づけ
- 第5場 大津町の現状

◇第2部 地域支え合い物語(ホリダシ区での物語) 23

第1幕 ホリダシ区での、ことの始まり

- 第1場 地域福祉推進委員研修にて
- 第2場 民生児童委員さんとの相談
- 第3場 区長さんを交えて作戦会議

第2幕 住民座談会(ワークショップ)から

- 第1場 事前打合せ会
- 第2場 困りごとと解決アイデア
- 第3場 アイデアから取組み事項へ
- 第4場 取組み事項の整理と今後の進め方
- 第5場 取組みの開始と点検・改め

◇第3部 大津町地域福祉推進の方策 39

第1幕 中心的な取り組み

- 第1場 策定委員会にて、基本目標(地域福祉推進のスローガン)
- 第2場 計画の柱

第2幕 地域福祉実践活動の推進

■ 幕間

- 第1場 小地域福祉活動推進地区による地域福祉
- 第2場 地域福祉実践活動(その1:地域の困りごと把握)
- 第3場 地域福祉実践活動(その2:お試しサロン)
- 第4場 地域福祉実践活動(その3:見守り活動支援)
- 第5場 地域福祉実践活動(その4:住民交流の催し)

第3幕 支え合いを担う人材とネットワークづくり

■ 幕間

- 第1場 区長・民生委員合同研修(広報全般)
- 第2場 福祉情報の伝わりやすさ
- 第3場 学童保育にて(子育てをとおしての人材育成)
- 第4場 障害者相談支援センターにて(障がいへの理解促進)
- 第5場 地域包括支援センターにて
- 第6場 福祉関係者連携
- 第7場 ボランティア育成
- 第8場 ボランティアセンターにて

第4幕 地域福祉の幅広い展開(住民と連携して行政・社協の取り組み工夫)

■ 幕間

- 第1場 地域づくりとの連携
- 第2場 健康づくり・生涯学習との連携
- 第3場 防災との連携
- 第4場 災害時要援護者避難支援計画との連動
- 第5場 ユニバーサルデザインとの連携
- 第6場 移動手段の確保

◇第4部 計画の進め方と評価 67

第1幕 計画の進め方と推進体制

- 第1場 小地域福祉活動推進地区の今後についての話し合い
- 第2場 小地域福祉活動推進地区からの広げ方
- 第3場 社会福祉協議会の役割と取り組み方
- 第4場 社会福祉協議会の体制強化
- 第5場 社会福祉協議会の在宅福祉支援事業

第2幕 計画の評価と改めの仕組み

- 第1場 策定委員会にて、評価方法
- 第2場 評価項目

計画書の全体構成

第1部 ことの始まり

計画策定の目的と位置づけ等を整理する。また、大津町の福祉に関する現状をまとめ地域福祉の必要性を明らかにする。

第2部

地域支え合い物語（ホリダシ区での物語）

仮想の行政区をモデルに、地域支え合い活動の立ち上げと進め方をまとめる。

第3部

大津町地域福祉推進の方策

大津町での地域福祉推進の目標と、推進のための方策をまとめる。

第4部

計画の進め方と評価

計画の進め方および進捗状況の評価の方法をまとめる。



第1部 ことの始まり

第1部 ことの始まり

計画策定の目的と位置づけ等をあきらかにする。

第1幕 計画づくりのはじまり

第1場 大津で起こっていることから

第2場 なんとかせんと！の会議

第3場 計画の目的

第4場 計画の位置づけ

第5場 大津町の現状

第1幕 計画づくりのはじまり

第1場 大津で起こっていることから

社会福祉協議会のホームヘルパーが、訪問を終えて帰ってきた。うかない顔をしている社協事務局長が迎える。



局長 Aさんは、どうだった？！

ヘルパー ……難しかです…。一見お元気ですが、お歳をとっておられ認知症の傾向もあって……。デイサービスが週2回、ヘルパーが週2回なんですが、残りの3日間が心配なんです。

局長 おひとり暮らしだし、親戚も遠くにしかおらん。介護保険や、福祉サービス・民生委員さんだけじゃ、目と手が行き届かんけん、なんとか考えんと……。

——若手女性職員が話に加わる。

若手職員 わたしの友達に赤ちゃんが生まれて大変なんですって。結婚して遠くに行って、誰も知り合いがおらんし、一日、赤ちゃんと二人っきりなんですって！
大津も、転勤の人も多かし、わたしの友達みたいな人も多いと思うとです。

ヘルパー お年寄りのことだけでなく、若い人の育児も大変。誰か話し相手がおらんと！。

局長 お年寄りも、若い人も、近所の人とおしゃべりしたり、冗談を言い合ったり出来ると、お互いに楽になれるし、いざというとき支え合えるとばってん……。

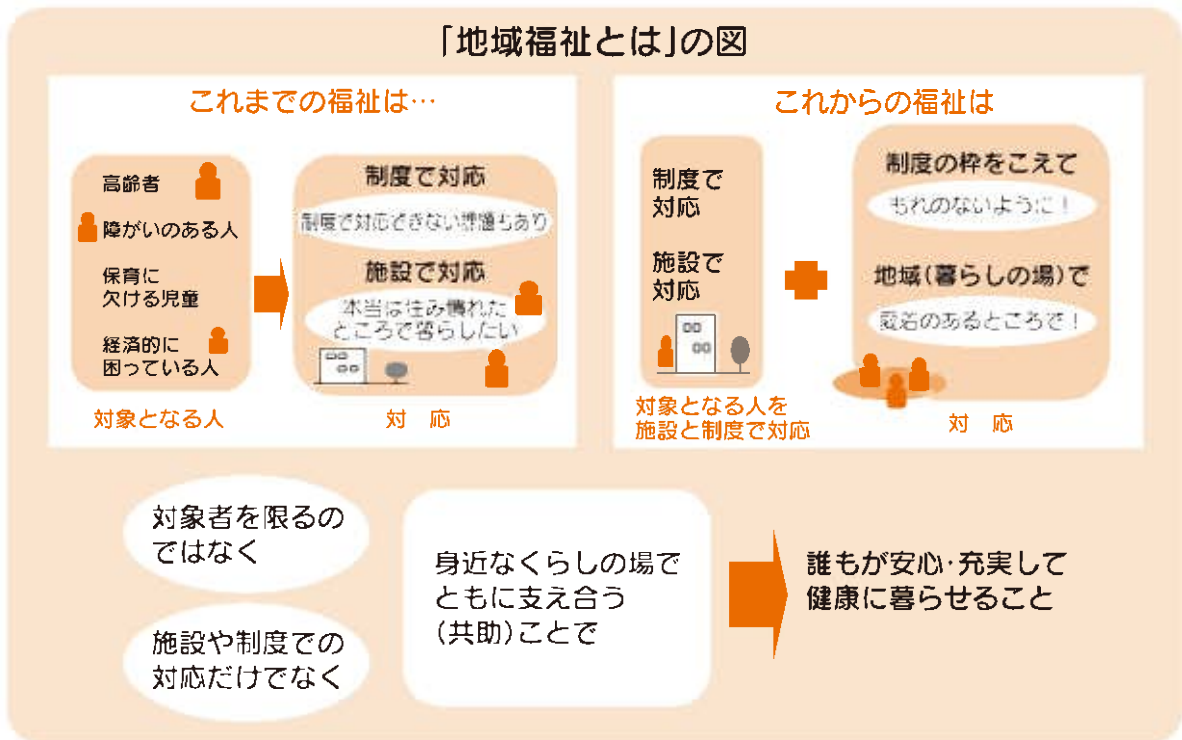
第2場 なんとかせんと!の会議

役場健康福祉課の課長・職員と社会福祉協議会会長・職員、それに、民生委員数名とが、なにやら深刻な表情で話し合いをしている。



- 課長** 高齢者の割合は大津町全体で見ると高くはないけど、地区によっては若者がいなくてお年寄りばかりになってる。一人暮らしも多い!
- 民生委員** 担当地域を回りよると、いろんなことがあります。介護保険や障害者自立支援も必要ばってん、それだけじゃすまんこともあります。
- 職員** お年寄りや障がいのある人だけじゃなく、若い人にとっても近所との支えあいは大事と思います!
- 局長** 社協も考えているけど、もっとみんなで考えんと。隣近所での支え合い(地域福祉)をもっと進めんといかんと思うとです!

——健康福祉課職員と社協職員とで地域福祉についての勉強が始まった



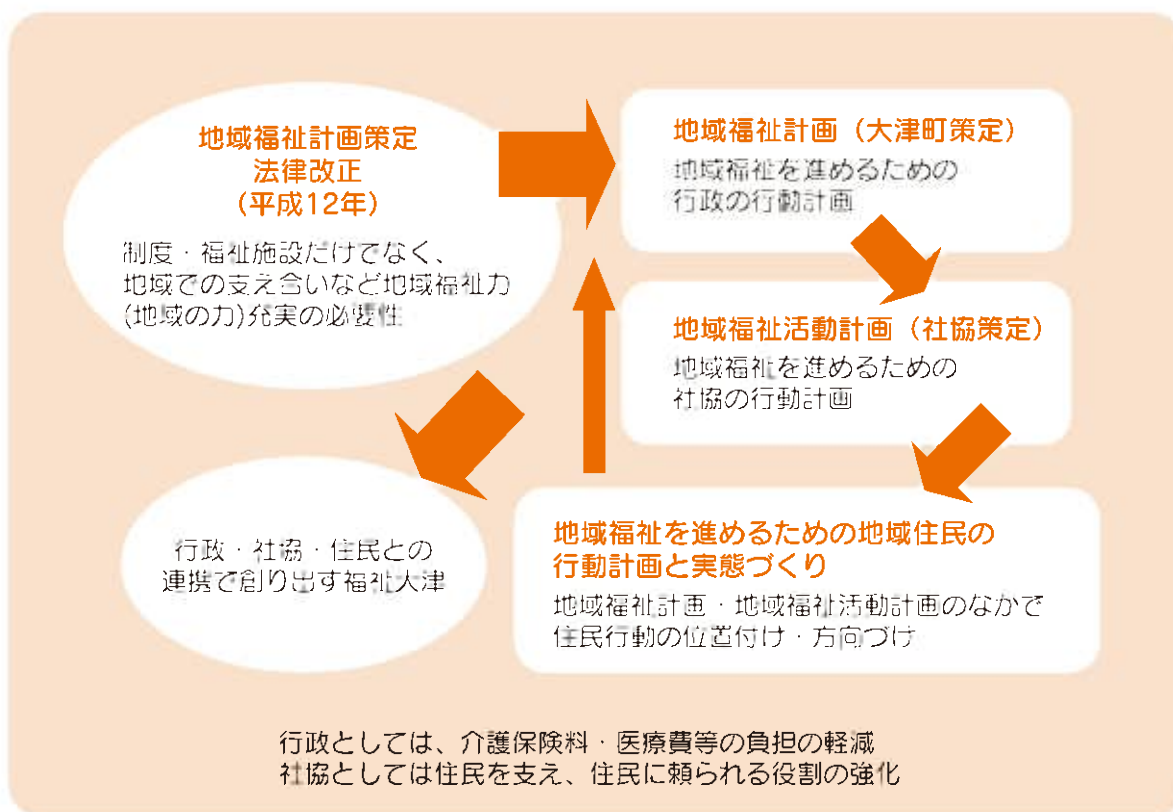
第3場 計画の目的(地域福祉フォーラムにて)

健康福祉課と社協の職員が、県庁の主催する地域福祉計画研修に参加している。



課長 地域福祉計画は介護保険計画のように市町村の策定義務じゃないので、市町村それぞれの考えが試されている。地域福祉を考えると大変なことになることを、皆が納得せんといかんですね！

社協局長 『誰もが、安心充実して健康に暮らせる』のは基本。地域での支え合いを見直すのが地域福祉計画！これが、本当の福祉のごつ感じます！



第4場 計画の位置づけ(役場会議室にて)

夕暮れ迫る会議室に、役場健康福祉課と社協から数名の職員が集まっている。健康福祉課長が檄をとばす。



課長 大津町は地域福祉に取り組みます。町全体でどうするか地域福祉計画と、社協の活動をまとめる地域福祉活動計画を一緒に作り、行政・社協・住民と一緒に地域福祉を進めます。まずは、役場職員・社協職員の意識を変えんといかんね。みんなで考えよう。

社協局長 地域福祉は近所での支え合い。あくまで、住民が主役。住民の方に納得して取り組んでもらえることが大事なところ。計画書を作るのが目的じゃない、3年くらい時間をかけて作りたい。

「地域福祉と既存福祉事業との関連」の図

平成18年3月策定

大津町振興総合計画



平成21年3月策定

地域福祉計画

高齢者福祉

児童福祉

障害者福祉

平成21年3月策定

地域福祉活動計画

第5場 大津町の現状(資料の発表)

朝早くから、役場福祉部と社協の職員が集まっている。
今日は、地域福祉の勉強会。



課長 皆さんに各自の勉強を兼ねて、大津町の福祉の現状について資料作成をお願いしていました。今日は、それでみんな勉強！

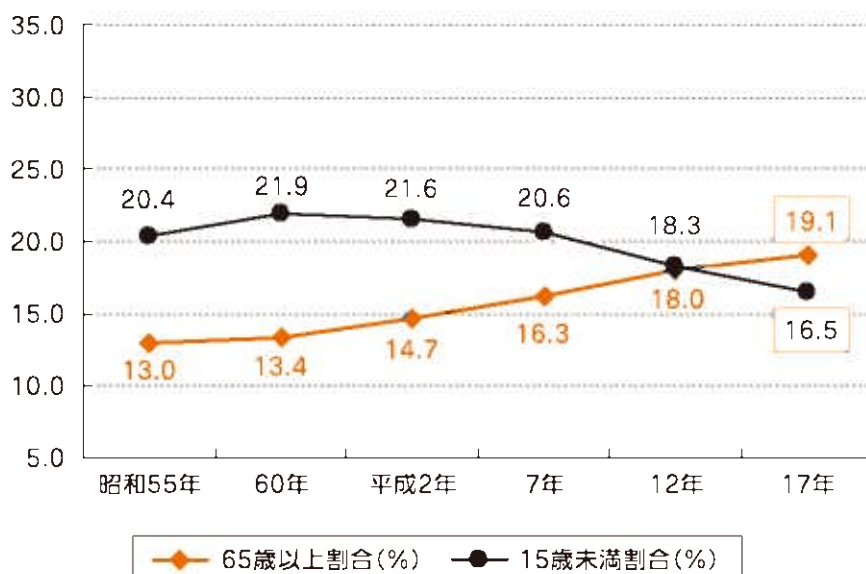
職員が、それぞれまとめた資料を説明する。

職員1 大津町は県内では高齢化率が低い方なのですが、確実に少子高齢化が進んでいます。

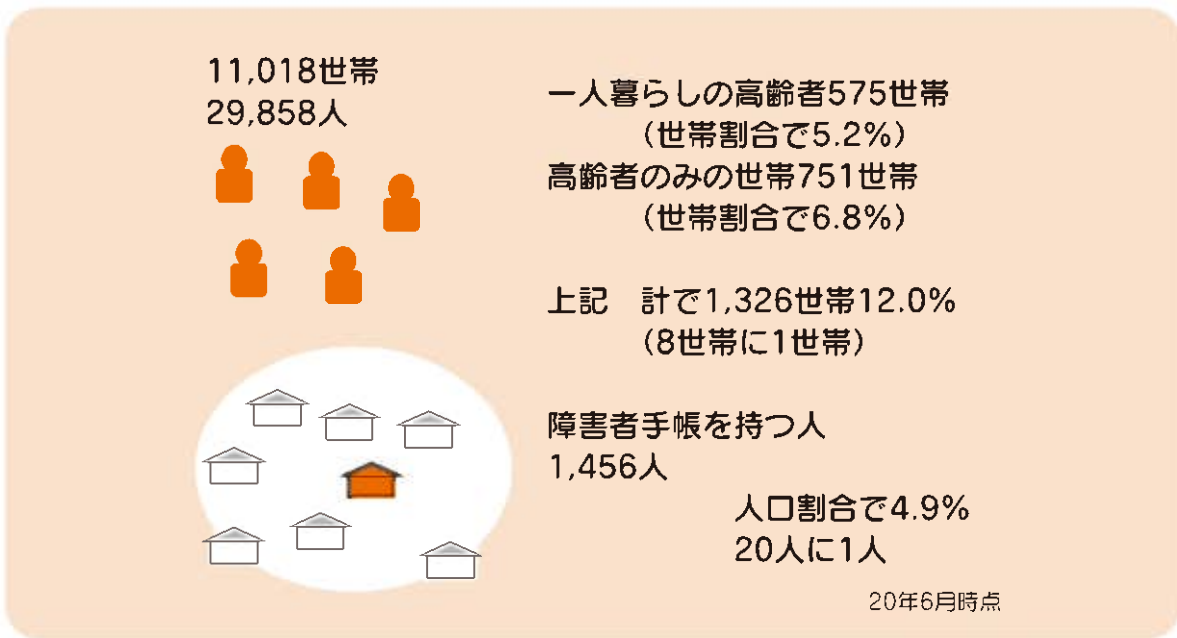
下表を見てください。

大津町の高齢化率（65歳以上人口の割合）と年少人口割合（15歳未満人口比）の年次ごとの変化です。平成12年に高齢者と子どもの割合が同じになり、17年では逆転しています。

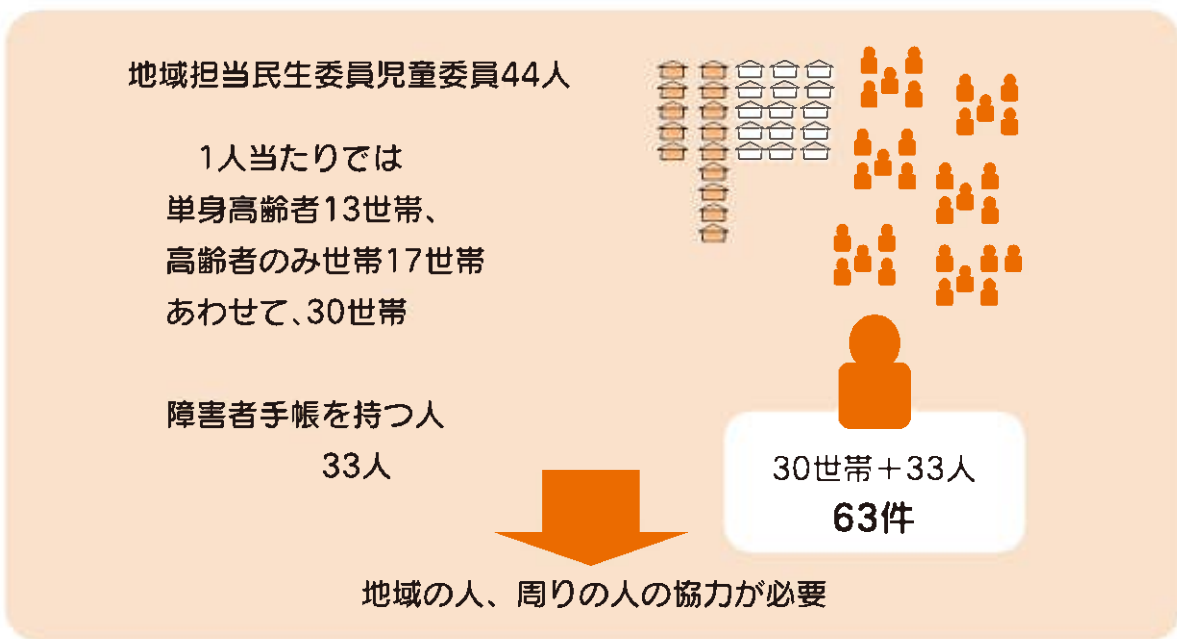
高齢者・年少人口推移(国勢調査)



職員2 高齢者の一人暮らし世帯と、高齢者のみの世帯は1,326世帯で、町全体では8世帯に1世帯の割合です。農村部では、もっと割合は高くなります。障害者手帳などを持つ人は1,456人で、全人口の4.9%。20人に1人となります。



職員2 地域担当の民生委員児童委員さんは44人なので、上の数値を44で割って1人当たりを計算すると、合わせて63件となります。民生委員児童委員さんだけでは手が行きとどかないことを示しています。



職員3 高齢者の15人の1人に認知症の症状が出るといわれています。大津町で計算してみると約370人となります。
これを世帯に置き換えると、29世帯に1世帯に当たります。

認知症の症状の出る割合

65歳以上の6~7% (15人に1人)

85歳以上の25% (4人に1人)

大津町65歳以上の人は約5,700人

計算では約370人

総世帯11,000世帯で見れば、
3.4%に相当！

おおむね29世帯に1世帯は認知症の人がいる
計算になります。

職員3 20年後は認知症の人は2倍になるといわれています。
1人の認知症の人に3人の介護者が必要といわれていますので、計算してみると、大津では10人に1人が認知症の当事者か介護に関わることとなります。

認知症の人、現在170万人

20年後には2倍！

1人に3人の介護者が必要

$$170 \times 2 \times (1+3) = 1,360 \text{万人}$$



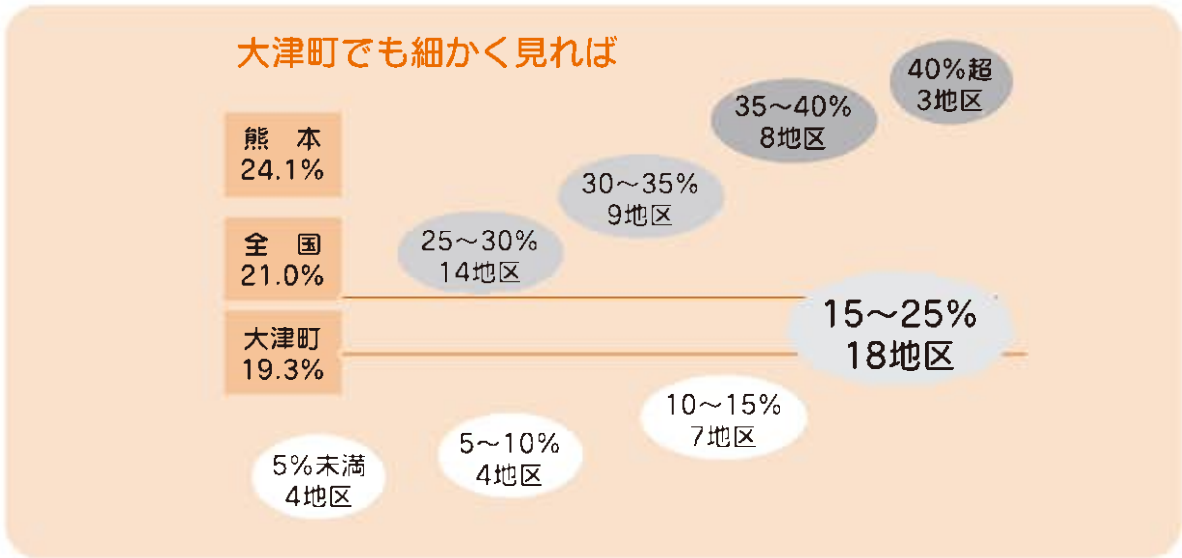
大津で見ると

$$370 \text{人} \times 2 \times (1+3) = 2,960 \text{人}$$

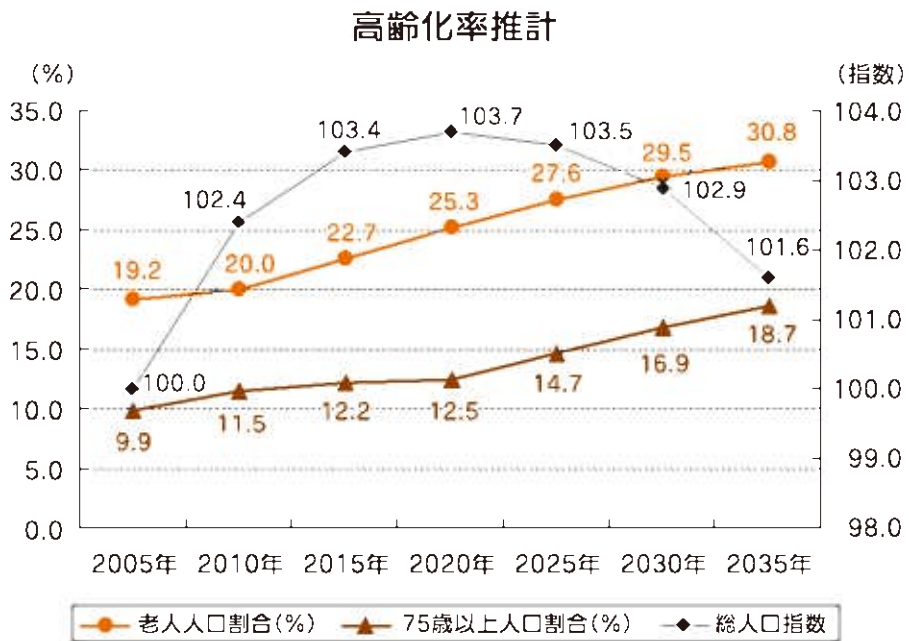
2,960人は今の人口約30,000人の9.9%

これは、10人に1人

職員4 町全体は19.3%の高齢化率ですが、行政区別に見ると40%を超える地区もあります。
 (行政区別の高齢化率については、22頁を参照)

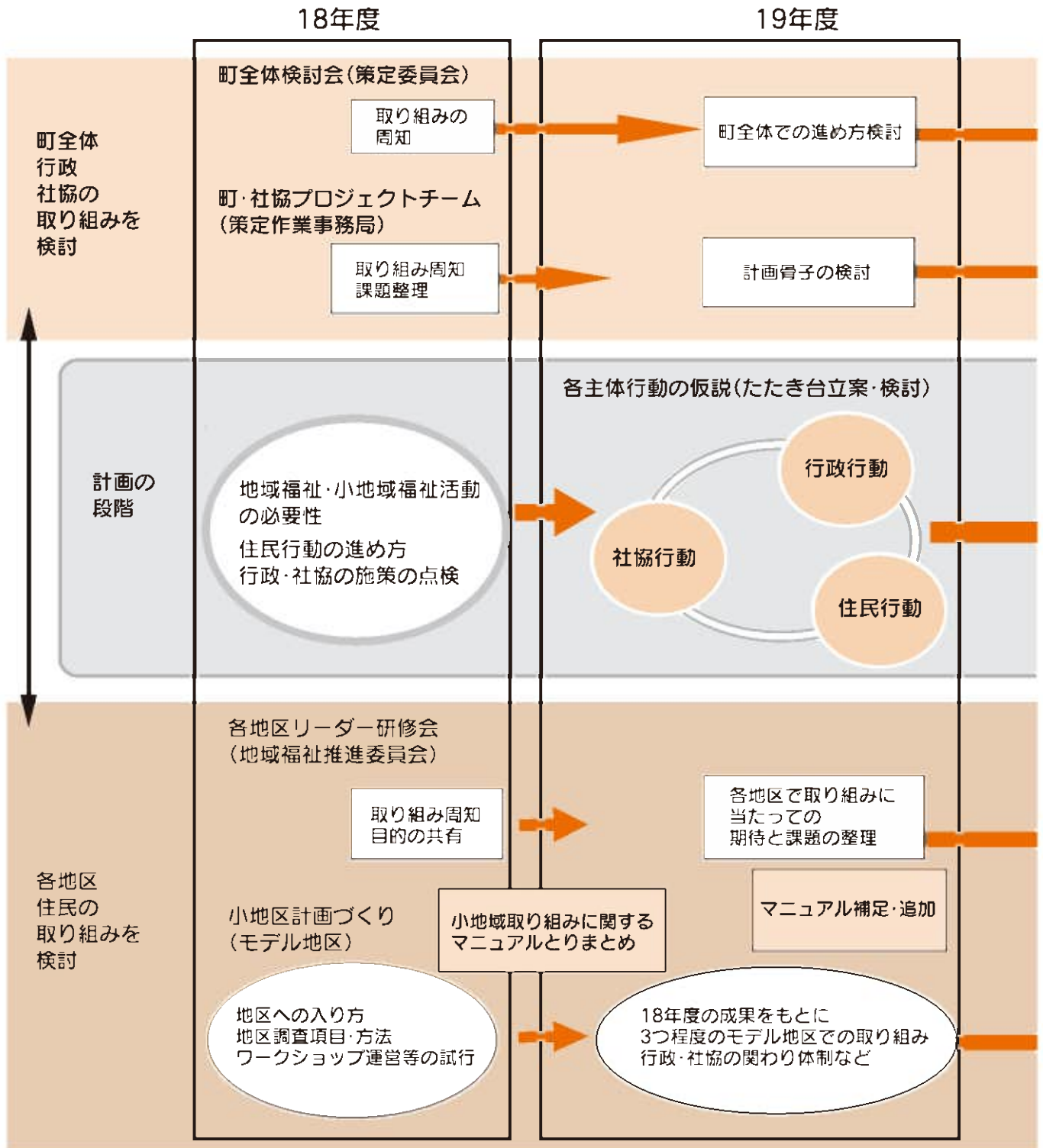


職員4 社会保障・人口問題研究所が公表している将来人口推計です。総人口指数を見ると大津町は2020年をピークに人口減少になるとされています。高齢化率も確実に高くなります。

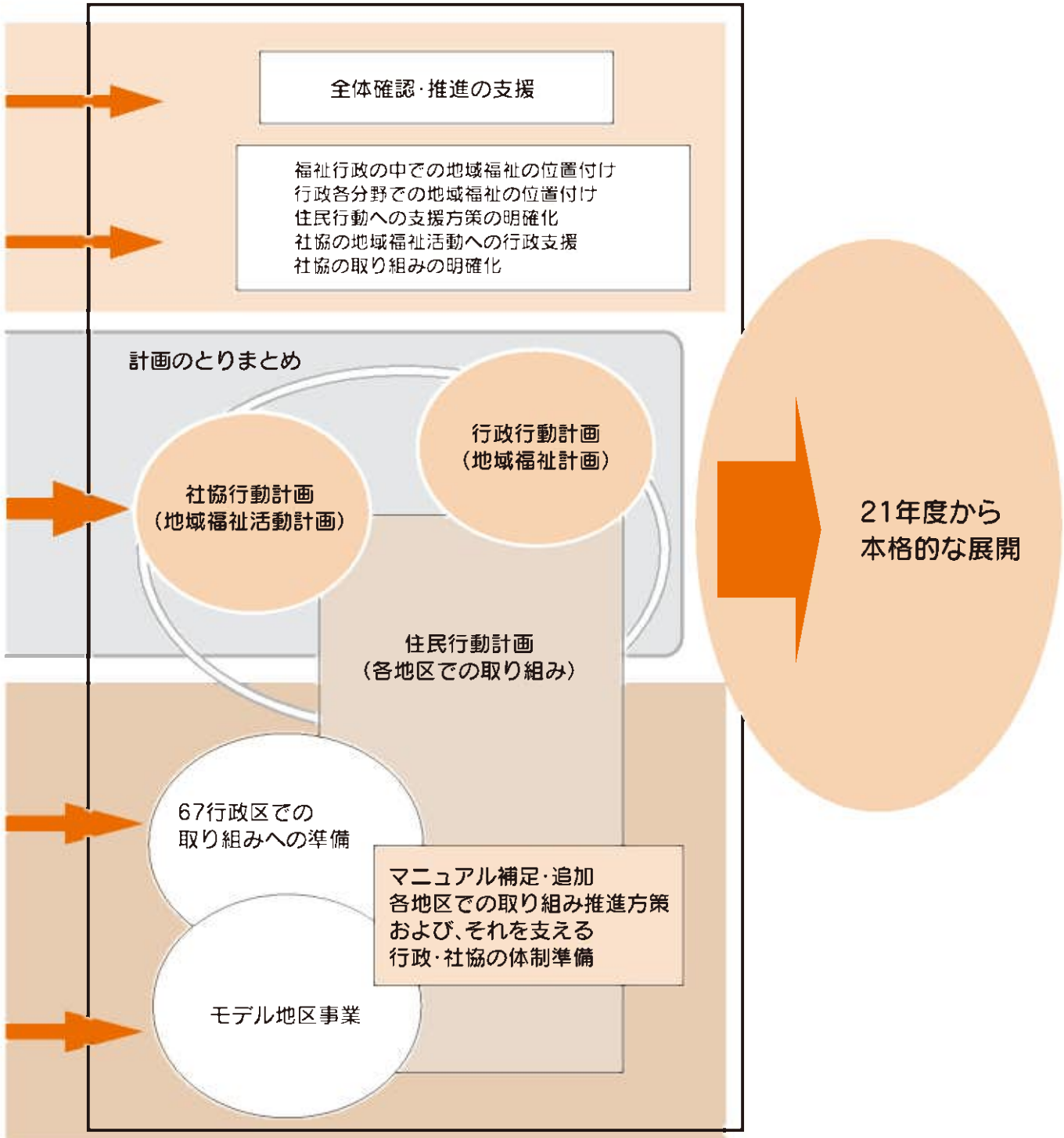


—— 各自の業務（子育て支援、介護保険、健康づくり、ホームヘルパー等）と地域福祉との関連など、熱心な意見が出された。後日、次のような資料がまとめられた。

●資料 3年間の策定方針の図



20年度



(後日談その1 モデル地区をもとに計画策定の進め方)

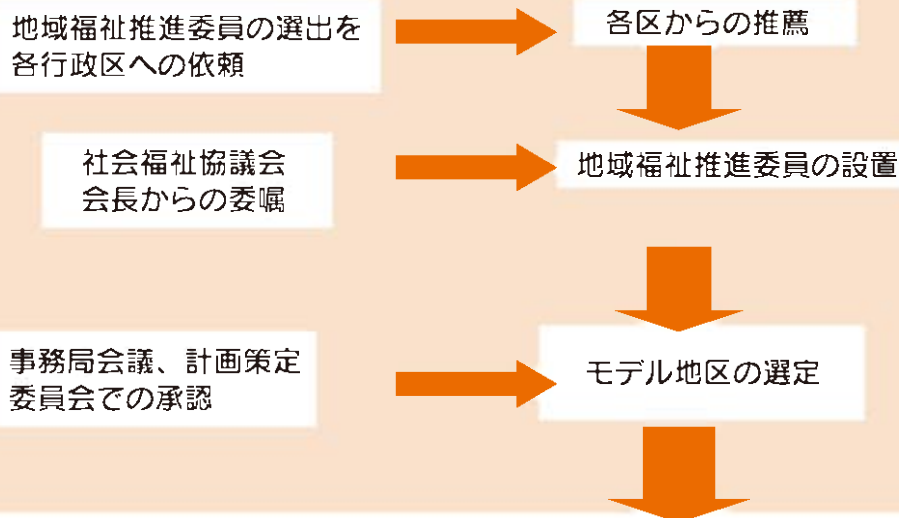
各行政区を単位に住民相互の支え合い活動を進めていくことを基本とし、地域福祉推進委員の選出、モデル地区選定を行った。

モデル地区の状況に応じ住民座談会（ワークショップ）を開催し、住民自ら、地域課題の発見、解決方策へのアイデア出し、取り組み事項の検討等を行い、具体的な活動へと進んでいった。

地域福祉推進委員

行政区から選出され社協会長が委嘱する「地域での福祉活動を進めるボランティア」。民生委員や区長などと協力し、地域での福祉に関する話し合いや活動の世話役となるもの。

地区在住の65歳以下の男女各1名を基本とし、世帯規模の大きい行政区では複数名の選出も可能。



地域福祉推進事業（モデル地区）

地域福祉計画・活動計画策定にあたり、各行政区がそれぞれの特性を活かし地域福祉活動に取り組んでいくことを目標とした。

平成18年度に森区、19年度に楽善・多々良区、20年度にはさらに大津東区・南杉水地区（源場・つつじ台・桜丘区）を加えモデルとし、住民、役場、社協とでワークショップを開催。

地域福祉への理解と地域で取り組む福祉活動の立ち上げ等を進めてきた。今後は、この経験を活かし、他行政区での住民座談会等を進めていく。

(後日談その2 計画策定の体制)

役場、社協が協働で計画策定を進めた。また、関係して以下のような体制で策定にあたった。



大津町 年度別 行政区別 高齢化率推移

作成：社会福祉法人大津町社会福祉協議会(H20/6/1)

地区	年度	平成9年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
内	掖	22.61%	29.80%	30.29%	31.62%	31.56%
外	掖	32.35%	35.50%	36.73%	36.98%	35.45%
錦	野	32.36%	37.55%	36.46%	36.59%	35.29%
岩	子川	30.86%	36.00%	37.31%	37.31%	36.76%
瀧	坂	28.14%	28.70%	29.08%	30.31%	31.63%
大	田	28.28%	42.50%	42.37%	40.52%	39.47%
吹	林	23.46%	29.03%	29.32%	30.22%	31.02%
	田	28.91%	37.07%	36.60%	36.02%	36.75%
	森	25.35%	32.80%	32.19%	32.43%	32.12%
上	陣内	25.93%	23.23%	22.92%	21.96%	22.75%
中	陣内	17.27%	21.95%	22.43%	23.03%	21.92%
下	陣内	15.71%	21.56%	21.22%	22.43%	22.32%
盤	治	—	10.85%	11.23%	11.73%	11.99%
	町	25.15%	31.45%	32.80%	33.66%	33.56%
下	町	24.16%	29.89%	30.69%	32.49%	33.71%
中	町	28.17%	32.79%	34.44%	35.84%	35.98%
上	猿	20.99%	26.67%	26.97%	27.47%	27.91%
下	猿	23.48%	29.55%	33.06%	35.90%	34.82%
御	所	26.25%	28.57%	28.99%	30.08%	31.82%
馬	所	18.71%	24.24%	24.24%	24.54%	25.81%
宮	本	20.67%	22.95%	21.81%	23.16%	23.04%
多	良	21.54%	27.19%	28.95%	29.73%	27.27%
飯	楯	28.93%	27.05%	28.10%	29.91%	30.51%
古	城	20.63%	31.91%	30.43%	27.45%	28.57%
米	山	25.64%	41.94%	37.93%	40.00%	50.00%
貞	木	32.62%	39.26%	38.20%	38.49%	40.32%
街	所	23.15%	36.52%	34.45%	35.04%	35.65%
上	中	22.59%	32.62%	34.05%	35.17%	35.47%
下	中	22.44%	24.22%	23.21%	23.18%	23.88%
片	俣	33.85%	43.33%	45.09%	44.24%	42.94%
小	林	24.55%	36.71%	36.54%	35.47%	36.68%
今	村	19.46%	25.15%	27.27%	28.57%	30.82%
杉	下	26.28%	30.35%	30.23%	30.08%	31.78%
杉	上	26.60%	34.94%	36.33%	35.58%	35.45%
の	原	21.13%	17.26%	15.38%	18.02%	18.44%
源	場	14.78%	20.06%	19.88%	21.66%	22.55%
護	東	23.26%	38.64%	40.48%	36.84%	37.14%
組	外	2.31%	8.23%	8.76%	8.28%	9.11%
つ	じ	7.32%	10.65%	10.43%	10.79%	11.86%
桜	地	11.65%	14.90%	14.11%	15.08%	17.52%
大	東	11.01%	15.56%	16.03%	17.25%	17.74%
立	石	15.61%	23.17%	23.43%	24.58%	27.22%
後	迫	17.33%	22.91%	21.75%	22.85%	23.04%
上	鶴	16.99%	18.45%	18.30%	20.30%	20.49%
上	南	29.02%	28.40%	27.44%	25.43%	24.81%
上	津	15.56%	18.70%	19.28%	20.38%	19.91%
築	津	8.55%	13.24%	18.09%	18.51%	17.47%
日	津	—	—	7.11%	6.73%	6.49%
西	津	7.87%	17.50%	19.28%	21.33%	24.73%
水	津	22.49%	29.27%	25.88%	25.89%	24.45%
松	津	23.67%	31.52%	29.29%	29.64%	32.45%
中	津	22.22%	21.49%	21.21%	21.68%	21.32%
中	津	10.55%	12.30%	12.85%	12.36%	12.84%
駅	津	27.33%	31.91%	31.66%	31.46%	32.75%
室	津	20.51%	18.03%	18.01%	18.18%	17.18%
室	津	10.80%	12.83%	13.20%	12.70%	12.93%
室	津	15.14%	14.26%	15.41%	15.69%	14.94%
北	津	3.33%	6.13%	7.90%	8.10%	7.80%
あ	津	1.90%	3.79%	4.71%	4.17%	5.15%
灰	津	21.43%	27.34%	28.32%	27.02%	27.21%
新	津	8.90%	6.93%	6.88%	8.44%	9.10%
引	津	13.85%	15.61%	15.02%	14.42%	14.50%
高	津	19.30%	22.66%	23.26%	22.15%	21.65%
新	津	23.53%	29.61%	28.19%	29.37%	30.28%
引	津	3.68%	6.17%	6.69%	6.47%	5.84%
美	津	—	4.55%	3.57%	3.35%	3.00%
美	津	0.00%	4.62%	5.04%	5.00%	5.86%
美	津	0.00%	2.68%	3.33%	3.56%	3.81%
合	計	17.05%	19.15%	19.11%	19.26%	19.17%

は、平均より高い地区

第2部 地域支え合い 物語

第2部 地域支え合い物語 (ホリダシ区物語)

仮定の「ホリダシ区」を想定し、行政区を単位とする地域支え合い活動の立ち上げと進め方をまとめる。

※ホリダシ：「宝物、かくれたもの」を見出すことから、地域支えあいの気持ちやこれまで地域で行っていた支え合いを再発見し光を当てていく意味で使っています。

第1幕 ホリダシ区での、ことの始まり

- 第1場 地域福祉推進委員研修にて
- 第2場 民生児童委員さんとの相談
- 第3場 区長さんを交えて作戦会議

第2幕 住民座談会(ワークショップ)から

- 第1場 事前打合せ会
- 第2場 困りごとと解決アイデア
- 第3場 アイデアから取組み事項へ
- 第4場 取組み事項の整理と今後の進め方
- 第5場 取組みの開始と点検・改め

参考資料 モデル地区の事例紹介

1. 森 区
2. 多々良区
3. 楽善区
4. 大津東区
5. 南杉水地区(源場・つつじ台・桜丘区)

第1幕 ホリダシ区での、ことの始まり

第1場 地域福祉推進委員研修にて

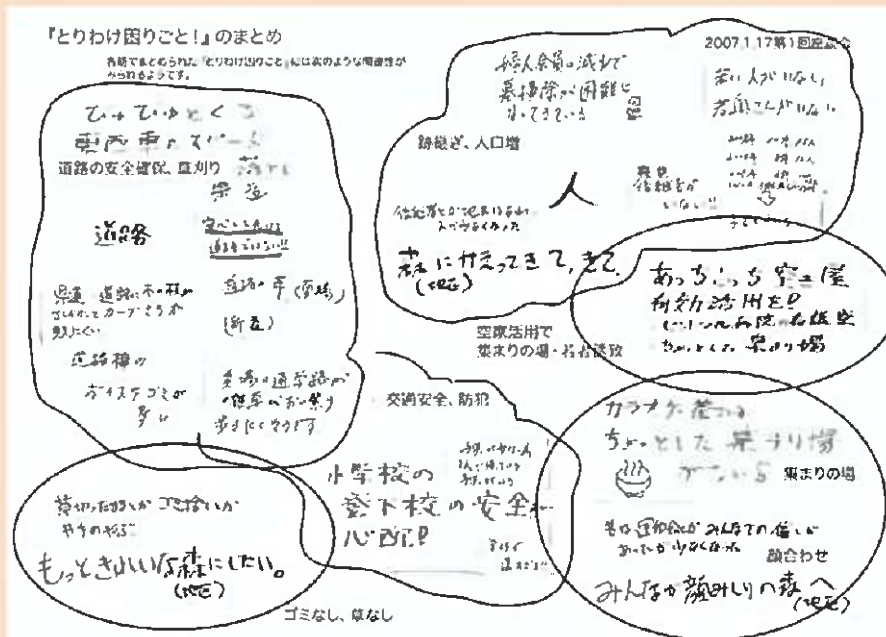
区の地域福祉推進委員さん達は、地域福祉についての研修中。スライドでモデル地区での地域支え合いの事例が紹介されている。



推進委員1 福祉は行政や施設がすることと思ってたが、みんなで考えんといかんとなね〜。

推進委員2 ホリダシ区でも、民生委員さんが一人暮らしのところをまわりよりますが、みんなで出来ることもあるんじゃないですか〜？

——推進委員さんにとって、改めて地区の様子を考えてみるきっかけとなった。下図のような地区の状況がまとめられた。



地区での困りごと(福祉の課題)例示(森区)

第2場 民生委員さんとの相談

地域福祉推進委員さん達は、民生委員さんを訪ね、研修で思ったことを話し始める。



推進委員1 民生委員さんにはいろいろ世話をしてもらい。ありがたかことです。

民生委員 そりゃ～民生委員の役割ですけん。

推進委員2 地区のみんなが、少しずつ出来ることを考えましょうよ。

推進委員1 私もやがて高齢者の仲間入り。自分が近所の人に何かとお世話になるから、今のうちに支え合いのことを進めておきたい。

推進委員2 この間の研修で、地域福祉のモデル事業の話がありましたが、うちの区でも、そぎゃん話が出来るとよかけど……。

民生委員 そんなら、区長さんや老人会長さんとも相談してみましよう。

地域支えあいの必要性(民生委員さんのメモ)

介護が必要な
高齢者が
これからもっと
増えてくる

施設の枠はいっぱい
介護保険の枠もいっぱい

地域での
出来るだけの支え
認知症対応・介護予防

人口の多い団塊の世代がいずれ高齢者になっていく

第3場 区長さんを交えて作戦会議

区長さんの家に、地域福祉推進委員さんと民生委員さん、老人会長さんが集まっている。



区長 なんごとかいた？みんなして。
推進委員 実はカクカクシカジカで～。
区長 話はわかる。区民で支え合いは必要と思う。
 ばってん、皆忙しか。
 どぎゃんしょ～か!?
 今でも近所のことは、目配り、気配りはしよる。
 あらためて、なんば話すとかい!?
 とこっで、ワークショップて、なんかいた!

——これを契機に、社協や役場とも相談し、ホリダシ区での話し合いの開き方・進め方の検討が続けられた。

住民座談会 招集メンバーの図(幾つかのパターン例示)

小規模行政区
各世帯から

中規模行政区
各団体関係者

大規模行政区
地区役員・各組長

新興住宅行政区
各組代表

ワークショップとは

年齢・性別・役職等に関係なく、カードや広用紙、その他の道具を使い参加者が自由にのびのびと意見を出し合い考えをまとめていく手法

第2幕 住民座談会(ワークショップ)から

第1場 事前打ち合わせ会

公民館に地区内の各団体関係者、
組長等が集まっている。
役場、社協も参加。



写真は森区の事例(以下同様)

区長 この度、ホリダシ区で地域福祉のことを話し合っていきます。一人暮らしの
人が増えたり、近所どうしでのお付き合いが薄くなるなか、隣近所で支
え合いを進めるものです……。

——地域福祉推進委員さんの司会で進行。役場、社協からは地域福祉のこと、小
地域福祉活動推進地区の説明がされた。

ワークショップの進め方基本構成

3回程度で、当面の取り組み
(地域福祉活動)をまとめる。
概ね1ヶ月程度の間隔で開催。

第1回
地区の困りごと
解決アイデア

第2回
解決アイデア
の具体化

第3回
取り組み事項の
進め方

1回2時間程度。
開催の曜日や時間帯は各区の
状況に応じて設定

座談会(地区役員、各種団体・組長等)

↑ 支援

役 場

↑ 情報提供

社 協

← 連携 →

第2場 困りごとと解決アイデア(第1回ワークショップにて)

公民館に、4つの島状にテーブルが置かれている。ワークショップの始まりである。



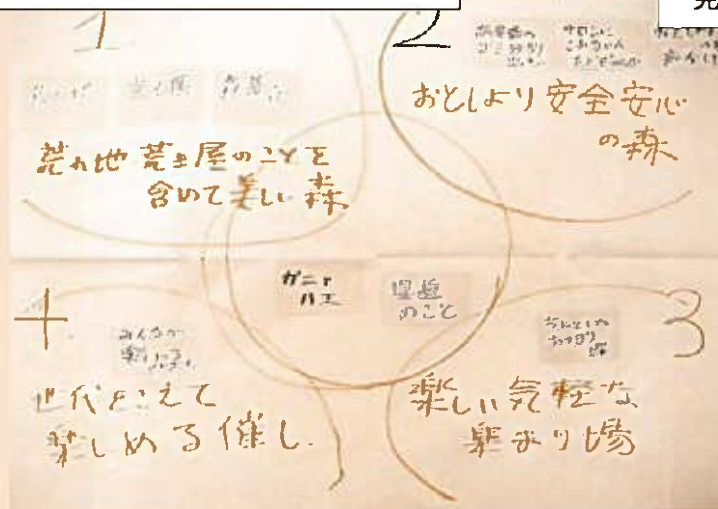
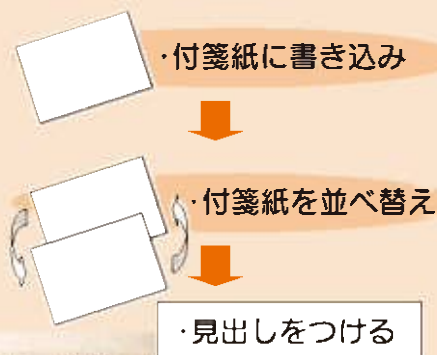
「地区の宝物」とは…

推進委員 今日は、第1回ワークショップをします。『地区の困りごと』と『困りごと解決アイデア』についてです。進め方は社協と役場の方がお世話してくださります。

社協職員 みんなが意見を出せるように、6~8人くらいの班に分かれます。年齢や男女に関係なく、意見ば出し合うのがワークショップです。

◇本日の広用紙◇

地区の宝物、すでにやっていること
地区の困りごと
困りごと解決のアイデア出し



第3場 アイデアから取組み事項へ (第2回ワークショップにて)

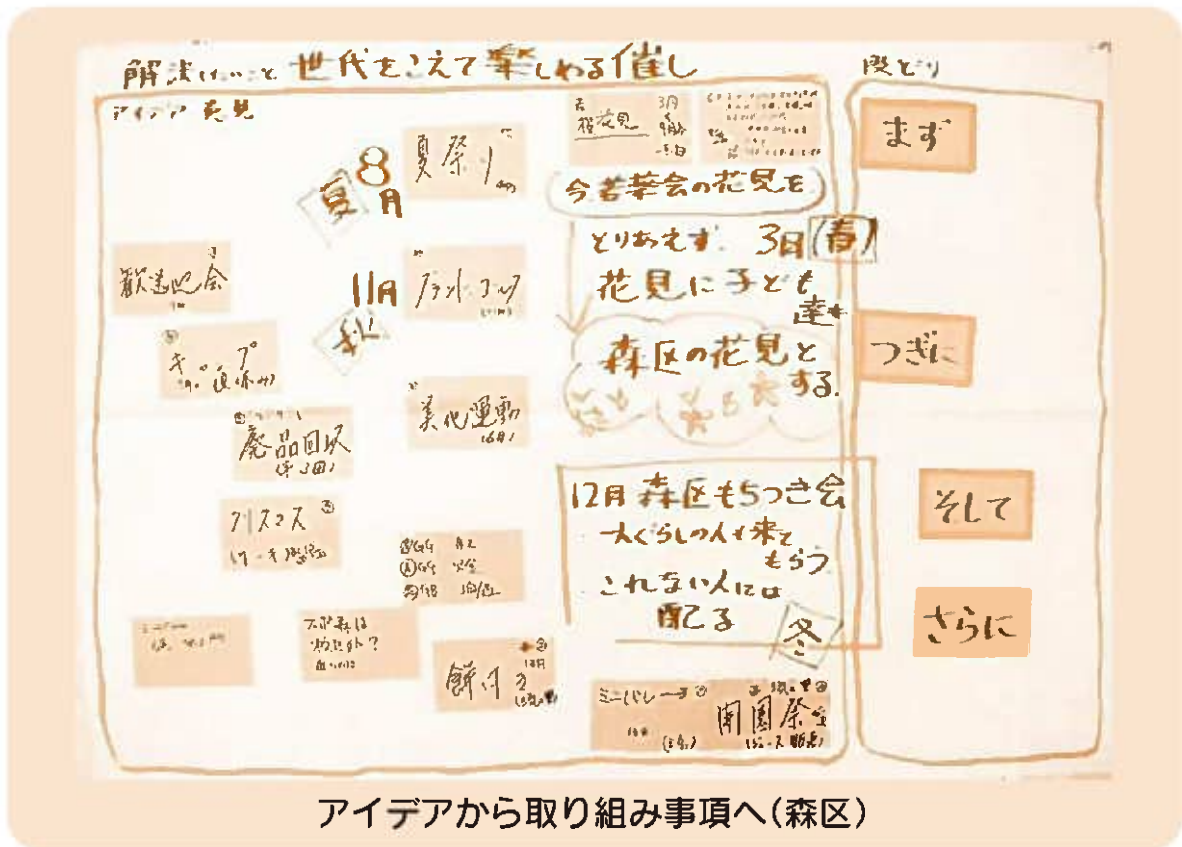
前回と同じく4つの班に分かれて、意見交換が進んでいる。



「解決方法」は…

- 区民1 前回、アイデアまでは出たけど、実際どうするかは、なかなか考えがまとまらないね。
- 社協職員 一人で考えてもむずかしいので、ワークショップをするのです。三人よれば、『モンジュの知恵』ですから。
- 区民2 話をしているとアイデアが出る。
カードに書いて、広用紙において、並べ替えてまとめていこう。

——カードの並べ替えや書き足しを行い広用紙がまとめられた。



アイデアから取組み事項へ(森区)

第4場 取組み事項の整理と今後の進め方 (第3回ワークショップにて)

きょうは車座になってみんなが座っている。
正面に大きな広用紙が張られ、全員で今後の
進め方を確認している。



今後の進め方は…

- 推進委員1 これまでの話で、3つの取り組みが考えられました。来年度から進めていきます。
- 推進委員2 今日は、その進め方を具体的に決めていきます。
- 区民1 いろいろ欲張らんで、少しずつ出来るところからはじめましょう。
- 区民2 それと、続けることと、より多くの区民の意識づくりが大事ですね。

——活発な意見が出され、まず始めることが決まった。

森区 18年度はとめ19年度に進めること?

電話連絡所

世代ごとの催し

気軽な集まり場

2007.3.15

取組み事項の整理と今後の進め方(森区)

第5場 取り組みの開始と点検・改め

活動が進められてきた。
継続した取り組みとするためにどうするか
をみんなで話し合っている。



司会進行の地域福祉推進委員さん

推進委員1 「まず、やってみましょう！」で始めたら…。

推進委員2 取り組んでみたら改善点も見えてくる。
また、みんなで話し合わんといかんですね。

区民1 少しずつ出来るところから広げていこう。

区民2 「支えあい」は毎日のことで続けるけど、福祉の話し合いを3ヶ月に
一回くらいは集まってしましよう。

——継続しての話し合いが必要とのことから、定期的な会合を持つこととなった。

・小地域福祉活動推進地区として3年間の実績を重ねた森区では、3ヶ月に一回程度の会合を継続している。

・地区役員の交替に当たっての引継ぎも行い、各団体での活動の調整や、見守り活動のより一層の工夫などを話題としている。

会の進め方

1. 報告

2. 主な議題

「支えあい」 10時～12時

昔の写真、フタモトビデオ

3. 見守りについて

4. 当面の予定

定期的な福祉の話し合いの方法(森区)

参考資料 モデル地区での検討経過

森 区

人 口：356人
世 帯 数：121世帯
高齢化率：32.6%
(H21.2月現在)

《初年度（平成18年度）》

事前説明
スライド研修



事前説明会

第1回ワークショップ

- ・ 森区の宝物
- ・ 困りごと
- ・ 具体的な「とりわけ困りごと」

上記の3つについて4班に分かれて
意見を出し合う



座談会(グループ)

第2回ワークショップ

「とりわけ困りごと」を整理し以下の3つの
テーマを設定

- ・ お年寄りの安全・安心な森づくり
- ・ 楽しい気軽な集まり場
- ・ 世代を超えて楽しめる催し

関心のあるテーマを選びグループに分かれ、
今後の具体的な取り組みを話し合い



ワークシート発表

第3回ワークショップ

第2回での検討をもとに、
次年度からの取り組み方を
全体で確認する



座談会(車座)



《2年度（平成19年度）》

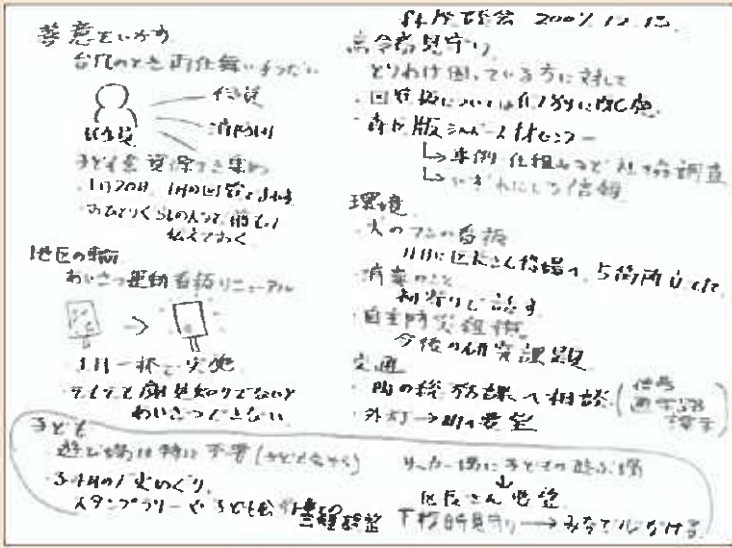
毎月第2木曜日公民館開放
フリーサロン
緊急連絡表（元気！もりもり
ふれあいカード）作成

中学生以上対象に
全世帯アンケートの実施

《3年度（平成20年度）》

年4回の定期会合
・各団体からの報告
・各団体行事予定と調整
（その時々テーマ）

全区民を対象とする
「避難カード」の作成



20年度反省会

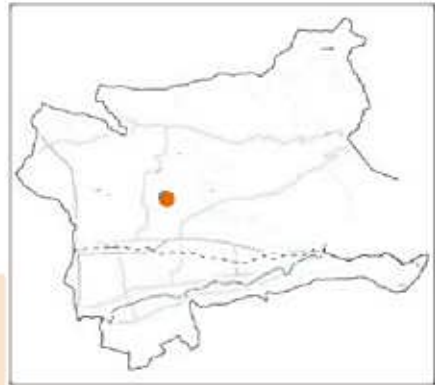
福祉に取り組む肥後木会
（ひもりぎ会）の名称決定



19年度反省会

多々良区

人口：107人
世帯数：32世帯
高齢化率：29.0%
(H21.2月現在)



《初年度（平成19年度）》

事前説明
スライド研修

第1回ワークショップ
「お試しサロン」実施の決定

第2回ワークショップ
サロンの反省会
年間のサロン計画

お試しサロン



《2年度（平成20年度）》

- ・先祖祭りサロン
- ・グラウンドゴルフサロン
- ・夏祭りサロン
- ・納豆づくりサロン
- ・門松 しめ縄づくりサロン



今後の進め方について

☆牛乳パックで作った椅子

(サロンのときに椅子があったらいいとの話から、ふれあいサロンにて作成)



牛乳パックで箱を作り



布でカバーを作成



どんどや

楽善区

人口：667人
世帯数：221世帯
高齢化率：17.2%
(H21.2月現在)



《初年度（平成19年度）》

- 第1回ワークショップ
「10年後に残したい楽善区の良いところ」
- 第2回ワークショップ
「10年後に困りそうなこと」
- 第3回ワークショップ
問題解決策



《2年度（平成20年度）》

- ・中学生以上全区民アンケート
- ・アンケートの分析
- ・検討テーマの選び出し
 - ・人材バンク
 - ・交流イベント
 - ・お年寄りの安心安全
 - ・健康づくり



資源物コンテナ回収で住民交流



大津東区

人口：1,626人
世帯数：611世帯
高齢化率：18.3%
(H21.2月現在)



区理事会で地域福祉に関する説明やスライド研修

第1回ワークショップ
すでに取り組んでいること
地域の困りごと
困りごと解決のアイデア

第2回ワークショップ
解決アイデアから取り組み事項の選び出し
・コミセン開放について
・見守り、自配りについて
・福祉の話し合い、意識づくり

第3回ワークショップ
今後の取り組み事項設定
・コミセン開放
・ボランティアの会
・福祉部の設置（ワークショップの継続）



4
大津東区で取り組みたいこと

コミュニティ常時開放
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り

各組で取り組むこと
担う目くくり表
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り

困りごと解決のアイデア
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り



最年少参加者



総会で決定
実施へ

4 30分

コミセン開放
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り
・高齢者の見守り

担当ボランティアの会
「1回1回」

「東区ボランティアの会」
(幸、おもしろ)

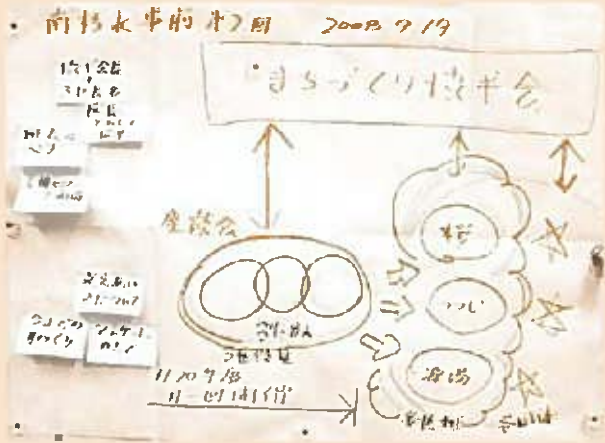
福祉部をつくる
「4月10日」
福祉部をつくる

南杉水地区

人口：1,673人
世帯数：573世帯
高齢化率：16.7%
(H21.2月現在)



つつじ台、源場、桜丘の3区で構成される南杉水人権のまちづくり協議会と3行政区と一緒に取り組む。
人権のまちづくり協議会のこれまでの取り組み(訪問活動や交流活動)を活かし内容にしていく



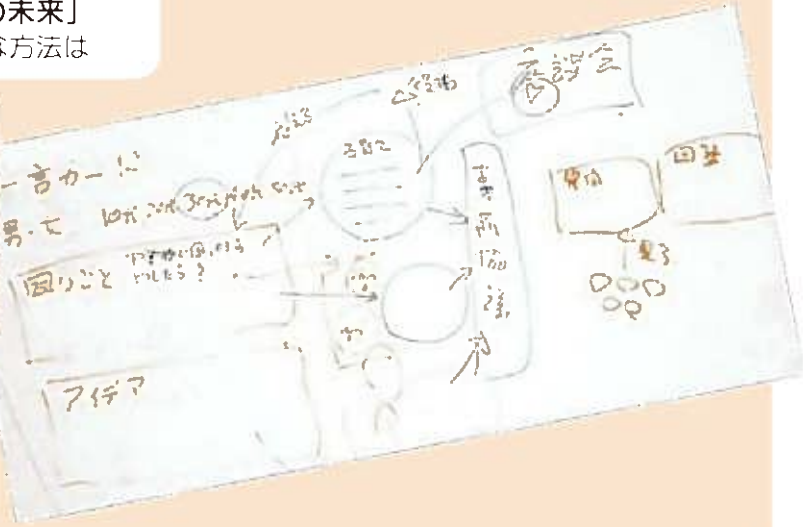
座談会の開催方法や周知方法についての検討



座談会呼びかけのキャッチフレーズ
「ともに語ろう！南杉水の未来」
まちづくりを進める具体的な方法は



- ・呼びかけチラシ案の作成
- ・案内チラシとともに一言カードを配布、回収し、ワークショップに反映



ベスト ショット

モデル地区での
活動内容



森区肥護木会の年度末納会



大学生による森区住民
アンケートワークシート



森区住民アンケート
ボランティア



多々良区サロンで門松づくり

第3部 大津町地域福祉 推進の方策

第3部 大津町地域福祉推進の方策

大津町での地域福祉推進の目標と、推進のための方策をまとめる。

第1幕 中心的な取り組み

- 第1場 策定委員会にて、基本目標（地域福祉推進のスローガン）
- 第2場 計画の柱

第2幕 地域福祉実践活動の推進

■ 幕間

- 第1場 小地域福祉活動推進地区による地域福祉
- 第2場 地域福祉実践活動（その1：地域の困りごと把握）
- 第3場 地域福祉実践活動（その2：お話しサロン）
- 第4場 地域福祉実践活動（その3：見守り活動支援）
- 第5場 地域福祉実践活動（その4：住民交流の催し）

第3幕 支え合いを担う人材とネットワークづくり

■ 幕間

- 第1場 区長・民生委員合同研修（広報全般）
- 第2場 福祉情報の伝わりやすさ
- 第3場 学童保育にて（子育てをとおしての人材育成）
- 第4場 障害者相談支援センターにて（障がいへの理解促進）
- 第5場 地域包括支援センターにて
- 第6場 福祉関係者連携
- 第7場 ボランティア育成
- 第8場 ボランティアセンターにて

第4幕 地域福祉の幅広い展開（住民と連携して行政・社協の取り組み工夫）

■ 幕間

- 第1場 地域づくりとの連携
- 第2場 健康づくり・生涯学習との連携
- 第3場 防災との連携
- 第4場 災害時要援護者避難支援計画との連携
- 第5場 ユニバーサルデザインとの連携
- 第6場 移動手段の確保

第1幕 中心的な取り組み

第1場 策定委員会にて、基本目標（地域福祉推進のスローガン）

策定委員長が口火を切った。



委員長 3年前、一番若い私が委員長をおおせつかったことは、成長への励みと受け止めました。

あれから3年、私も勉強させていただいたし、大津町もモデル地区でのワークショップなどに取り組みました。

とくに『大津はこうするんだ！』という大きな目標が必要だと思います。皆さん、いかがでしょう？

委員1 支え合いのためにはまず、自分のマチが好きでないと始まりません。わがマチを大好きになることが大切です。

——これがもとになり、『誰もが安心・安全に、健康で充実して暮らせる地域であること』を大津で目指す **わがまち大好き! 大²作戦!** のキャッチフレーズがまとまった。

最初の案：わがまち大好き、大作戦！

ある提案：大の字が二つあるけん、オ～、ツ～たい。

さらに提案、2番目の大の字に二乗の「²」をつけましょう。

もう一度提案、「おおづだいさくせん」と読むようにしましょう。

おおづだいさくせん
わがまち大好き! 大²作戦!



第2場 計画の柱（策定委員会はつづく）

委員長の話を切り口に各委員からの意見が相次いだ。



- 委員2 それと、地域支え合いを進める柱みたいなものも必要では？
- 委員3 まずは、地域住民がそれぞれに福祉活動に取り組んで支え合いを広げることが大事！
- 委員4 それと、人づくりです。意識づくりをしないと始まりません。
- 委員5 それに、福祉と健康づくり、生涯教育、防災のこと、まちづくりのことなど幅広く考えてみたいですね。
- 委員6 大津の住民が自分たちのことに、どう取り組むかです。柱の一番は地域福祉実践活動ですね。

———下に示す3つの柱が設定された。

モデル地区事業の経過から得られたことから、まずは、住民自身の支え合い活動の取り組み推進が必要。また、そのためにも、住民の意識づくりや人材育成が重要。さらに、地域福祉を幅広く進めることが必要と考えられる。

1. 地域福祉実践活動の推進

地区での福祉の話し合いやサロン活動、見守り活動等の事例をもとに、今後の各地区で地域福祉実践活動を広げていく

2. 支え合いを担う人材とネットワークづくり

福祉の意識づくり、人材育成を進める
さらに、人材や福祉関係者のネットワークづくりを進め、新しい福祉サービスにつなげていく
とくに、今後重要なボランティアセンターの充実を図る

3. 地域福祉の幅広い展開

健康づくりや生涯学習など、幅広い町行政のなかで福祉に関連する事業を進めていく

第2幕 地域福祉実践活動の推進

幕 間

住民による地域福祉実践活動は多岐に及ぶ。ここでは次の6つに分けて整理する。

次ページ以下に各項目の解説を行う。

● 福祉に関する話し合い

住民座談会など福祉に関する話し合いが望まれ、地域福祉推進委員の委嘱や小地域福祉活動を広げていく

● 地域での困りごと把握

ワークショップで困りごとを整理することや、住民アンケートや聞き取り調査などで地域課題の把握を進める



多々良区お試しサロン

● サロン活動

公民館等に、地域住民などが集まり、ゲームや体操、会食などを行うサロン活動を広げていく

● 見守り、目配り、気配り、思いやり活動

思いやりをもって、一人暮らし高齢者や障がい者など、目配り、気配りで見守りを行っていく

● 住民交流活動

地域住民が顔見知りばかりであること、普段のふれあいがあることが支え合いの前提であり、交流活動を支援していく

● 福祉学習活動

認知症や介護予防などに関する講習会など、生涯学習や介護保険と関連した取り組みを行っていく

第1場 小地域福祉活動推進地区による地域福祉

今日は、各区の地域福祉推進委員の研修会。



地域福祉推進委員研修

- 推進委員** 委員になって福祉を考えるようになった。
もっと多くの人に推進委員になってもらえるといい。
- 社協職員** 各区にお願いしていますが、今のところ〇区、〇人です。
- 社協局長** 無理に進めるものではありませんので、各区への相談を重ねていきたいと思います。
- 健康福祉課職員** それと、小地域福祉活動に取り組む地区が広がっていくように、職員体制もしっかりしないと！
- 推進委員** 一番大事なのは、近所での支え合いをみんなが必要と思うこと。役場や社協も宣伝をして、まず、区で話し合いを始めてもらうことが大事！

住民の役割

- ・地域福祉への理解（地域支え合いの重要性への納得）
- ・地域福祉推進委員の選出、活動
- ・小地域福祉活動推進への取り組み

社協の役割

- ・地域福祉活動コーディネーターの配置、育成
- ・小地域福祉活動推進地区の支援
- ・小地域福祉活動推進地区の紹介
- ・地域福祉推進委員の委嘱、研修
- ・地域福祉活動の啓発
- ・住民座談会等の支援
- ・ファシリテーターとしての役割
- ・活動支援のマニュアル作成

※ファシリテーター

住民座談会などのまとめ役、進行の円滑化や意見の引き出し調整、全体での確認等を担当

行政の役割

- ・社会福祉協議会との連携、協働
- ・小地域福祉活動推進地区活動の紹介
- ・小地域福祉活動推進地区未指定地区への説明
- ・出前講座の活用
- ・スタッフの研修（共通認識）
- ・職員の意識改革と使命の再確認

第2場 地域福祉実践活動その1 (地域の困りごと把握と住民アンケート)

ホリダシ区で始まった福祉の座談会。



アンケート調査について話し合う
楽善区座談会

- 推進委員 地区の子ども会、老人クラブ、消防団、婦人会の人にも参加してもらったから、それぞれの活動を地区の福祉につなげることができた。
- 区民1 座談会でいろいろ話をしているけど、座談会には区民皆が参加するわけじゃない。
みんなの意見を聞きたいよね。
- 区民2 いっそ区民みんなにアンケートばとったら。
- 区民3 できれば民生委員さんが訪問されるみたいに聞き取りも加えてみよう。

住民の役割

- ・ 地区内情報の共有
- ・ アンケート調査の実施の段取り、集計、分析
- ・ アンケート結果を地区内で共有
- ・ 福祉の話し合いの開催
- ・ 地区住民への福祉の話し合いを広報、周知
- ・ 子ども会、老人会、婦人会、消防団などの地域組織の活動を福祉の視点で調整

社協の役割

- ・ 座談会の開催支援
- ・ 座談会への参加
- ・ アンケート方法のアドバイス
集計及び分析支援
- ・ 座談会の地区住民への
広報、周知支援

行政の役割

- ・ 社会福祉協議会との協働
- ・ 専門家への協力要請
- ・ 困り事の解決方法支援（情報提供）
- ・ 地域状況を行政計画等に反映
- ・ 座談会への参画
- ・ アンケート調査などに関係機関、
大学等への協力要請



アンケートの読み解きに関する
ワークショップの記録(楽善区)

第3場 地域福祉実践活動その2 (サロンのこと)

ある区で、お年寄りや子どもたち、誰もが楽しめる『サロン』の話が出されている。今日は、その作戦会議。



サロンについて話し合う
多々良区座談会

区民1 人口の少ない区ばってんやれば出来る。神事あまつぎの道行もちゃんと出来た。

区民2 ひとり暮らしのお年寄りを始め、みんなが集まるサロンをしたい。

区民3 まず、やってみよう！『お試しサロン』たい！！

—— さっそくサロンの段取りが手分けして進められた。

住民の役割

- ・ サロン開催必要性への実感
- ・ 他地区サロンの見学、情報交換
- ・ お試しサロンの開催、工夫
- ・ サロンの立ち上げ
- ・ 他サロンとの情報交換



多々良区お試しサロン
(風船1個で楽しく盛り上がり)

社協の役割

- ・ サロン、ミニデイサービス全体交流会の開催
- ・ サロン先進地研修（見学会）の開催
- ・ 地域福祉推進委員研修会時の情報提供
- ・ 運営支援検討（運営費助成等含）
- ・ サロンボランティア養成講座
- ・ サロン見学会、交流会開催
- ・ サロンに来られない人への対応

行政の役割

- ・ サロンの有効性の広報
- ・ 情報の提供並びに職員の派遣

(サロンのこと続き)

——サロンを広げることは重要と社協での話し合いが続いている。

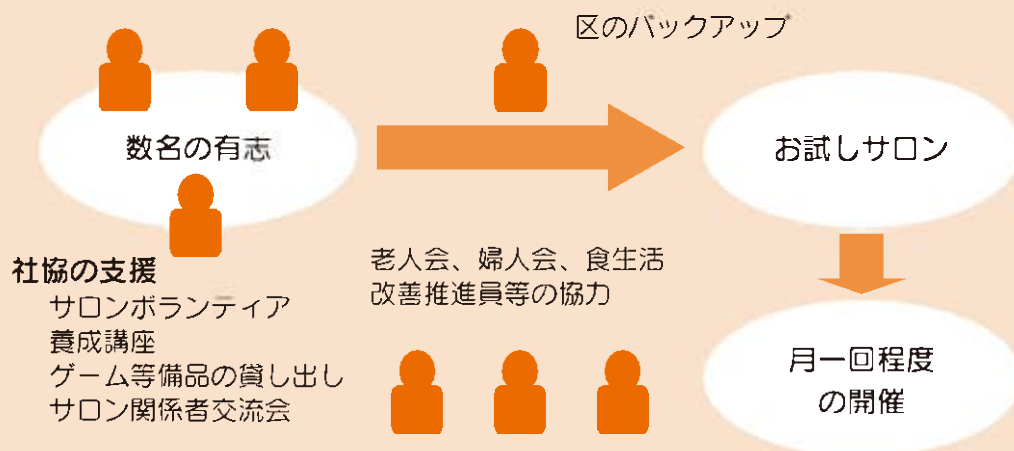
職員1 サロンは、高齢者だけでなく住民の集まり、交流にとって大事。高齢者の見守り活動にもつながる。
これから大事なこと。もっと広げていきましょう！

職員2 公民館開放のことなど、小地域福祉活動推進地区で話されています。

職員3 大津でもいろんな取り組みがある。これを手がかりに進めよう。

——サロンに関する資料がまとめられた

(イメージ図)



(具体例)

大津東区でのコミュニティセンター開放の検討



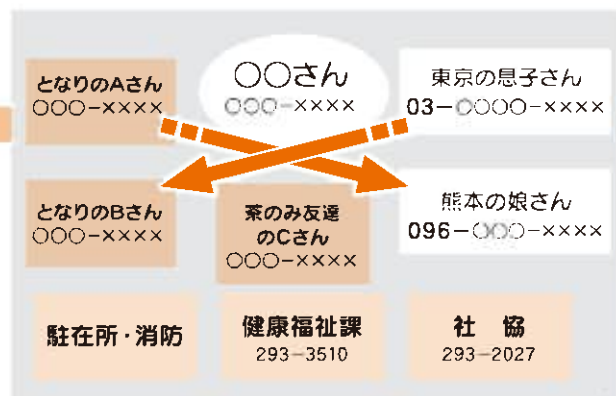
第4場 地域福祉実践活動その3 (見守り活動支援)

ある地区での座談会。一人暮らしの人の見守り活動のことが話されている。

- 区民1 事例で、「緊急連絡表」が紹介されたが、わたしゃ一人暮らしだけん、あんなのがあるといいな〜と思った。あ〜た達には迷惑ばかりかかるともれんが〜。
- 区民2 そら〜おたがいさまだけん。
- 区民3 なにかあった時、なにかある前に備えての連絡表を、本人の了解のうえで考えてみよう。

電気物音カーテン } さりげなく目を配る

安心連絡表



住民の役割

- ・見守り活動への意識づくり
- ・初寄りや総会での確認及び各組で見守りのネットワーク整備
- ・地区内の交流活動を開催（顔見知りを増やす）
- ・日常的なの近所との交流
- ・個人情報取り扱いの共通理解

社協の役割

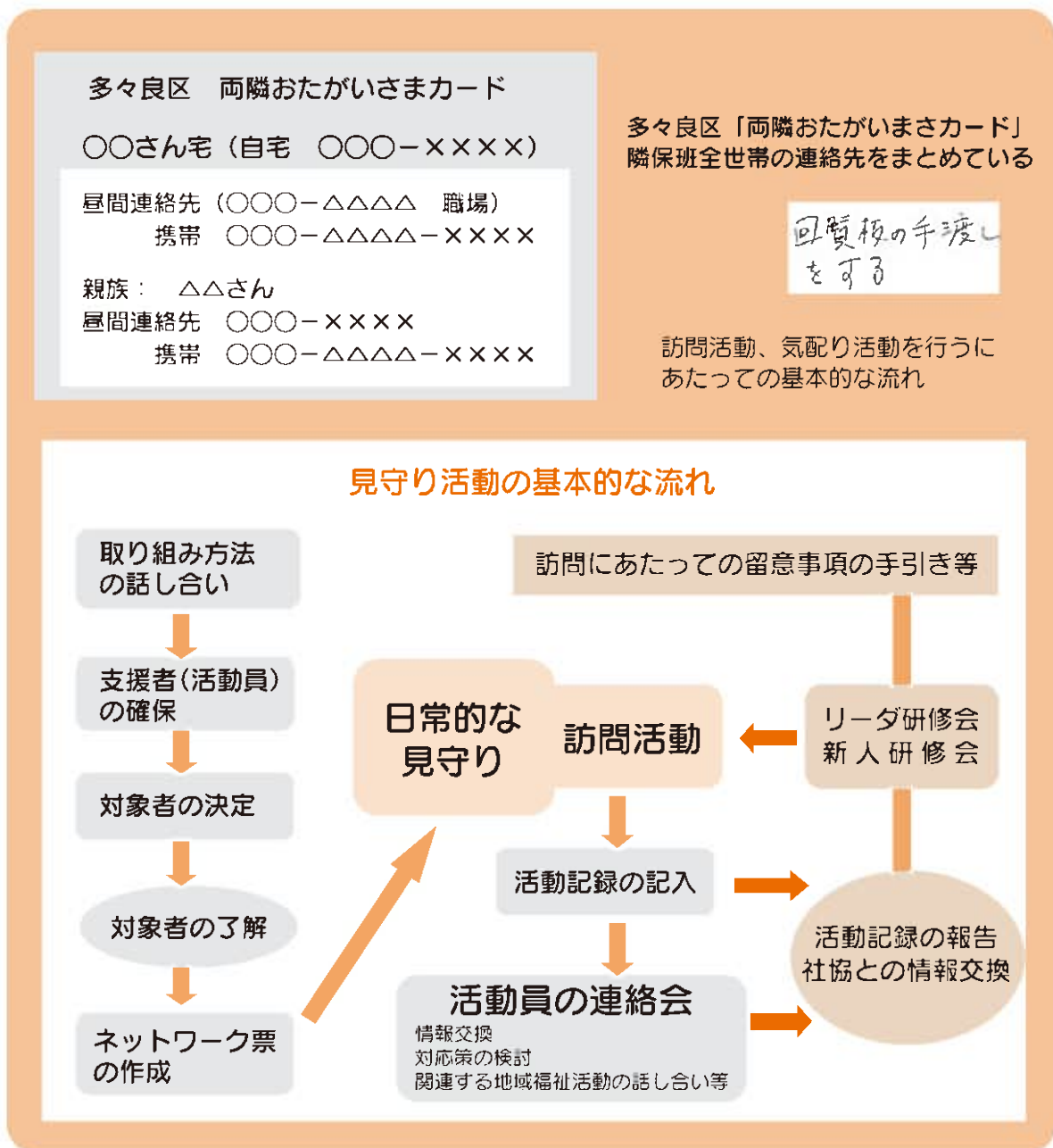
- ・民生児童委員など各種機関との協働
- ・座談会での情報提供
- ・緊急連絡表のひな型の提供
- ・事例紹介（元気！もりもりふれあいカード、多々良区両隣りおたがいさまカード等）
- 見守り活動の必要性の周知
- 見守り活動実施への支援
- 見守り活動関係機関との連携強化

行政の役割

- ・災害時要援護者避難支援と情報提供
- ・防災訓練等による住民との連動
- ・福祉サービスとの調整（ネットワークづくり）
- ・個人情報の取り扱いのガイドラインの作成
- ・小地域福祉活動への支援

(見守り活動の続き)

- ひとり暮らしの人等の緊急連絡票 (例: 森区「元気! もりもりふれあいカード」)
何かあったとき、遠くの親戚や息子さんに連絡が出来る連絡先カードとして作成
- 隣保班連絡網 (例: 多々良区「両隣おたがいさまカード」)
ひとり暮らしの人だけじゃなく、隣保班で互いの連絡網を作成



第5場 地域福祉実践活動その4 (住民交流の催し)

『お盆で帰ってくる者も多い。その時に合わせて夏祭りをしよう！
人々のあたたかさにふれ、故郷の良さを確認し、帰ってくる人がふえる
様に』との思いで夏祭りを企画。



森区夏まつり



大津東区夏祭り

組単位の寄合
交流の場をふやす

テーマ: 交流イベント

グループ名:



住民交流に関する話し合い(楽善区)

住民の役割

- ・現在の地域行事を工夫する
- ・他地区との情報交換
- ・研修会等の実施及び参加

社協の役割

- ・交流活動の支援
- ・座談会での事例情報提供
- ・社協だより等で活動事例紹介

行政の役割

- ・広報誌、ホームページでの広報
- ・イベント用備品（テント、いす、机、スピーカー等）の貸し出し
- ・地区担当職員及び代表職員の協力

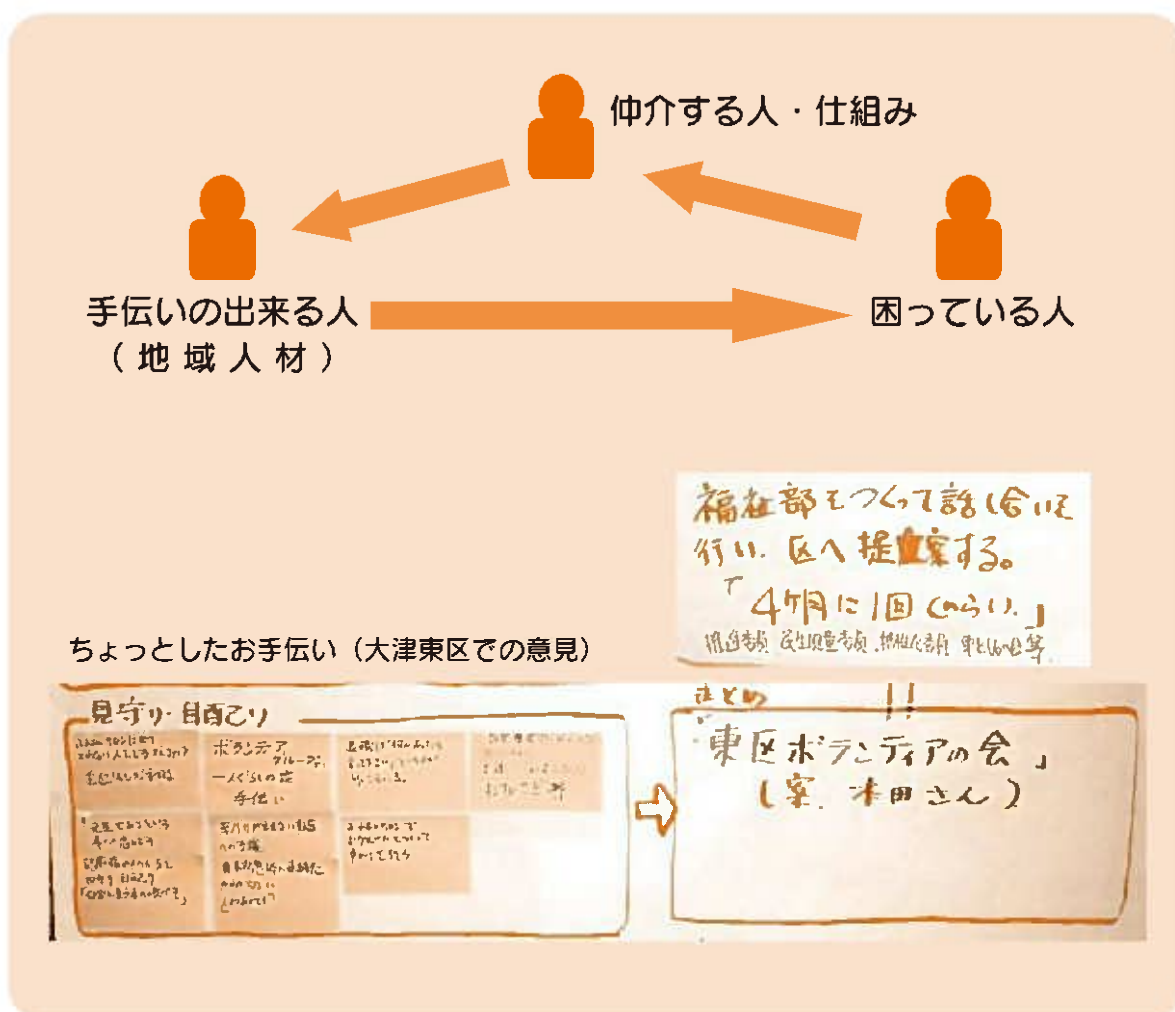
第6場 地域福祉実践活動その5 (おたがいさま活動、福祉学習活動等)

「団塊の世代が定年退職を迎えている。地域で活躍できる受け皿があるといい」

「誰か世話する人がおればボランティアできる人材はいる」



地域人材の活かし方 (楽善区での意見)



第3幕 支え合いを担う人材とネットワークづくり

幕 間

支え合いの意識づくり・人材育成は地域福祉の基本であり、長期的視点で進めていく。

また、人材・関連機関の連携も必要である。

そのため以下の項目ごとに次ページ以降に考えを整理する。

● 広報

地域福祉に関する広報、啓発活動を進めていく

● 福祉情報の伝達

町広報紙、社協だより、ホームページ等で福祉情報をわかりやすく伝えていく

● 子育て支援

地域ぐるみでの子育て支援を目標に、子育て支援を通して人材育成を進める

● 障がいへの理解促進

障害者相談支援センターを中心に、障がいへの理解促進に取り組む

● 地域包括支援センター

認知症対応の相談窓口、介護予防事業の取り組みなど地域包括支援センターの機能強化を図る

● 福祉関係者交流

町内人材のネットワークづくりを進める

● ボランティア育成

ボランティア養成講座の実施、ボランティア連絡協議会の設置などボランティア活動の普及を進める

● ボランティアセンター

地域人材を結びつけるボランティアセンター機能を強化し、地域課題への対応や新しい福祉サービスの創出につなげる

第1場 区長、民生委員児童委員合同研修（広報全般）

区長さん、民生委員児童委員さんの合同研修でモデル地区の活動報告が行われている。



区長・民生委員合同研修

社協局長 地域福祉はむずかしく考えずに、まずは地域住民が集まって話し合いを行うことが大切です。

健康福祉課長 みなさんの地区で、もっとくわしく知りたい方は、いつでも説明にうかがいます。

また、すでに取り組んでいるモデル地区への見学も調整します。

社協局長 モデル地区では、地域福祉推進委員さん、区長さん、民生委員さん、その他の皆さんが話し合いをして、その地区に合った進め方をされています。

住民の役割

- ・地域福祉に関する研修への参加
- ・まちづくりへの参画

社協の役割

- ・小地域福祉活動推進地区の活動発表を通じた意識啓発
- ・区長、民生委員児童委員協働による福祉推進の支援

行政の役割

- ・各種会議時の小地域福祉活動推進地区情報提供
- ・行政区長、民生委員児童委員、各団体等の公式的な会合での研修要請

第2場 福祉情報の伝わりやすさ

ある家庭での家族の会話。
小学校での勉強から、福祉への話題が広がっている。



護川小福祉体験

- 小学生 お父さん、こんど、学校で福祉の勉強ばするとたい。福祉のことを教えて。
父 ふくしとはな～。……おかあさんに聞きなさい。
母 ふくし、ふくしってよく言うけど、よくわからないわよね～。
父 福祉のことをもっと知っとかんといかな。おとうさんも一緒に勉強しよう。
小学生 お父さんもいっしょに勉強しよ！！先生が福祉は身近過ぎて気付かんけど、いつも足元にあると言いなはった。
母 今度、みんなで社協に行きましょう。

住民の役割

- ・ 回覧板の活用
- ・ 地区内の交流活動を開催（顔見知りを増やす）
- ・ 常日頃の近所との交流
- ・ 座談会への参加
- ・ 社協便り等を読む
- ・ 社協、行政が身近に相談できることを知る（知っていただくようにする）
- ・ 事業所など自らの情報発信と町全体での情報発信との連携

社協の役割

- ・ 座談会での福祉情報の提供
- ・ 社協広報「ふれあいネットワーク通信」への福祉情報の掲載
- ・ 小中高校や様々な場所へ出向いての福祉学習の講座の実施
- ・ ホームページ作成の検討

行政の役割

- ・ ホームページの工夫
- ・ 民生委員児童委員の役割広報、担当民生委員児童委員の周知
- ・ 出前講座の組み立て

第3場 学童保育にて（子育てをとおしての人材育成）

学童保育支援員が地域の老人会長さんに子どもの頃の話の話を聞いている。



学童保育昔遊び体験

支援員 子ども頃はどぎやんでしたか？

老人会長 そりゃあた、遊ぶときは遊び、家の手伝いもようしよった。

支援員 そぎやんですよね～！今の子どもには生活感覚、命の感覚が薄かごたる
とです。

老人会長 子どもは親だけじゃの～して、近所の人や周りの大人と関わって育つもの、
親も一緒、近所との関わりで親も育つ。

——話は進んで、学童保育と老人会、そして地域を巻き込んだ活動が始まって
いった。

住民の役割

- ・ 家族で主体的に子育てへの参加
- ・ 登下校時のバトロール等への参加
- ・ 地区での子どもと高齢者等の交流活動の企画
- ・ 地域の子どもたちの見守り

社協の役割

- ・ 子育て支援センターとの情報共有
- ・ 子育て関連各種団体活動の把握、連携、広報周知
- ・ 地域での子育てサロンの立ち上げ支援（ふれあいサロンとの合同実施や異世代間交流も含む）

行政の役割

- ・ 子育て関連団体交流会の開催
- ・ 子育て支援センター機能の充実
- ・ 子育てサポートセンター「ほほえみ」の運営（協力会員の広報）
- ・ 子育てと仕事の両立支援「病後児保育など」
- ・ 育児不安と孤立の解消「ママヘルプなど」

第4場 障害者相談支援センターにて（障がいへの理解促進）

障害者相談支援センターを訪れた人と、障害者相談支援専門員との会話。



障がい者相談支援専門員(写真右)

- 来訪者 住民座談会ばしよるばってん、障がい者の話はなかなか出てこん。
専門員 普段、障がいのある人と接することが少ないからですかね～。
来訪者 どうしたら理解が進むかな～。
専門員 子ども達だと、遊びながら自然と友達になるんですけどね～。
来訪者 大人も、子ども達を見習わんといかんですね～。
専門員 とにかく、障がいへの偏見や抵抗がなくせるように、交流を進めましょう。

住民の役割

- ・障がい者についての理解を深める

社協の役割

- ・当事者団体の育成
- ・当事者団体の困りごとの集約
- ・地域福祉権利擁護事業（日常生活支援事業）による障がい者の自立支援
- ・障がい関係団体交流会の開催
- ・障害者居宅介護事業による障がい者の社会参加や自立への支援

行政の役割

- ・障害者相談支援センター活動の充実
- ・障がい関連団体交流会の開催
- ・中小企業連絡協議会への障害者雇用啓発及び協力依頼

第5場 地域包括支援センターにて

役場前の銀行の建物を改修した地域包括支援センターでの職員の話。センターの今後のことが職員同士で話されている。



地域包括支援センターでの相談の様子

- 職員A 最近、やっと銀行とまちがわれんごつなりましたねー。
- 職員B でも、地域包括支援センターのことを、もっともっと町の人に知ってもらわんといかん。
- 職員C 介護のこと、認知症のことは当然ですが、地域にはいろんな困りごとがあります。
これからも出向きましょう。
- 所長 座談会なんかにも顔を出して包括支援センターを役立ててもらおう。

住民の役割

- ・ 認知症や介護相談などに地域包括支援センターを活用

社協の役割

- ・ 地域包括支援センターと連携し、地域課題の把握
- ・ 地域包括支援センターと情報を共有した利用者支援

行政の役割

- ・ 地域包括支援センター事業の広報
- ・ 座談会などへの包括支援センター職員の出席
- ・ 認知症サポーター養成講座の開催

第6場 福祉関係者連携

今日は、子育て支援に関わる各種団体やグループが一同に集まっている。
子育て支援情報紙「あいあい」のことから話が広がっている。



子育てサークルリーダー会
「milk cafe」によるバザー風景

子育て支援センター職員 「あいあい」も第〇号を迎え、子育ての輪がつながってきています。これをもっと広げていくために皆さん知恵を出しましょう。

参加者A 支援者だけでなく、地域で子育てにつなげていきたい。

参加者B 同じ子育て中の人たちとも交流を持って、おしゃべり出来るといい！

——子育て関係者だけでなく、障がい福祉関係者、当事者や家族間などでのネットワークづくりが進められている。

住民の役割

- ・当事者団体の組織化
- ・民間事業所、人材の参加

社協の役割

- ・当事者交流を通じた団体結成に向けての支援（在宅介護者の会など）
- ・当事者団体の運営支援
- ・当事者団体間の交流
- ・関係協力団体との福祉課題の共有

行政の役割

- ・当事者への働きかけ
- ・交流会の開催

第7場 ボランティア育成

ボランティア養成講座の開講日。
参加者の自己紹介がされている。



ボランティア養成講座
開講式の様子

- Aさん(夫) 来年、定年ですから、なにか地区の役に立てればと思って夫婦で参加しました。
- Aさん(妻) 福祉施設のお手伝いなどしていますが、受講することで他の人と知り合いになり、輪を広げたいと思っています。
- Bさん 孫がワークキャンプで福祉の体験をさせてもろて、大変ためになっとります。
わたしも孫に負けんごつ、がんばりたいと思って参加しました。
- 社協職員 大津にはいろいろな人材がいらっしゃいます。その人たちの知恵や技術などを、もっと活かしたいと考えます。

住民の役割

- ・ ボランティア活動への参画
- ・ ボランティア体験

社協の役割

- ・ ワークキャンプ（社会福祉施設等体験事業）の実施
- ・ ボランティア協力校での福祉体験プログラムの実施
- ・ 福祉学習出前講座の開催
- ・ ボランティア養成講座の開催
- ・ ボランティア活動の「場」（プログラム）の開拓
- ・ 退職者の地域活動の場づくり支援

行政の役割

- ・ 広報紙、ホームページでの広報、啓発
- ・ 人材の育成、発掘（講座等の実施）

第8場 ボランティアセンターにて

若手職員が、センパイ職員に尋ねている。



給食配達ボランティア

- 若手職員** センパイ。ボランティアセンターの看板がありますが、どこがセンター
なんですか？
- センパイ** ここがセンター。ボランティアセンターは建物じゃなく、社協職員が
センターになっとる。
- 若手職員** ???よくわかりません。わかるように教えてください。
- センパイ** センターは、ボランティアをしたいという人と、ボランティアを必要
とする人とをつなぐ役割。
それに、これからは、地域の人材を活かして地域の困りごとを解決す
るような調整も必要。
- 若手職員** それがボランティアコーディネーターなんですね
- センパイ** だから、センターやコーディネーターは社協の大事な役割。これから
充実させていかんといかん。

住民の役割

- ・ボランティアセンターへの登録
- ・必要とするボランティアをボランティアセンターへ要請

社協の役割

- ・ボランティアコーディネーターの配置
- ・ボランティアセンターの立ち上げ
- ・ボランティアセンターで、ボランティ
アを必要とするニーズの拾い出しと、
ボランティア人材との調整
- ・町内ボランティア活動の調査、分析、公表
- ・ボランティア活動の需給調整及び相談支援
- ・ボランティア連絡協議会の設立支援
- ・人材の配置、人材の研修、他市町村の
実践事例研修。ワークショップ開催、
成果引き出しのノウハウ研修

行政の役割

- ・社協のボランティアセンター
活動の支援

第4幕 地域福祉の幅広い展開 (住民と連携して行政・社協の取組み工夫)

幕 間

行政・社協がその専門性を活かして、幅広く地域福祉を進めていく。
以下の項目ごとに、今後の取組みを整理する。

● 地域づくりとの連携

町民による福祉を切り口としてのまちづくり
活動によって中心商店街の活性化や、高齢者・障がい者の社会参加、経済活動につなげていく

● 健康づくりとの連携

高齢者の健康維持、健康診断の受診など健康づくりを地域福祉の推進と一体的に進める

● 生涯学習との連携

公民館活動など生涯学習の一環として、認知症・介護予防、防犯・防災意識の向上を図り、安心安全のまちづくりを進める

● 防災との連携

自主防災組織を進め、日常の見守り活動を連携した防災、避難の仕組みづくりを図る

● 災害時要援護者避難支援計画との連携

日常の見守り活動と一体となる災害時要援護者避難支援を進める

● ユニバーサルデザイン推進

地域住民の集まる公民館や公共空間などのユニバーサルデザイン化を進め、町全体へ広げていく

● 移動手段の確保

乗り合いタクシーをはじめ、買い物ボランティアの育成など、移動手段の確保について体系的な検討を行う

第1場 地域づくりとの連携

健康福祉課での議論が続いている。

- 課長 支え合いは大事！そもそもは若い人が地域に残らんといかん。とくに農村部に！
- 職員1 でも、企業誘致の時代でもないですし、何か産業・なりわいにつながることを考えないといけませんね。
- 職員2 そういえば大津のまちなかに福祉の事業所が空き店舗を使ってパン屋を始められましたよ。
- 課長 それたい！そぎゃんとがあると福祉のことも身近になるし、まちのにぎわいにもなる。パンが売れて事業所にも良か！

——福祉を切り口に地域起こしを考えること。
地域起こしを福祉につなげることが考えられるヒントとなった。



まちなかに立地した地域交流施設「よんなっせ」

住民の役割

- ・地域活性化、まちづくりへの取組み
- ・地域資源の再発見、資源活用のお話し合い

社協の役割

- ・先進地のまちづくり活動の紹介、コーディネート
- ・活動資金作りのための各種財団等の助成事業の紹介
- ・社会福祉施設、団体による地域での就労支援（農業等との連携）

行政の役割

- ・まちづくり基本条例の周知
- ・空き店舗活用等と福祉関連を結びつける！
- ・施設改修などでの公的助成の紹介、斡旋



まちなかに立地した地域活動支援センター「アンパ」

第2場 健康づくり・生涯学習との連携

保健師が健康福祉課長に話しかける。

保健師 課長、きのう住民健診説明会でホリダシ区へ行ったんですが、みなさん熱心で参加も多かったです。

課長 小地域福祉活動推進地区では、福祉だけでなく、健康づくりや介護予防にも意識が高まるとたい。
そこに地域福祉を進める意味もある。
小地域福祉活動推進地区の取組みが保健師の仕事にも役立つ。

保健師 そうすると、みんな健康になって、若い人も肉離れなど起こさなくて、医療費もあんまり掛からんようになりますね。

住民の役割

- ・健康維持や生きがいづくりへの積極的なかかわり
- ・地域活動への参画
- ・出前講座の活用

認知症への理解を
深める 関心を持つ
(講座への参加等)

社協の役割

- ・ふれあいサロンの普及による老人クラブ連合会との連携
- ・生涯学習課との連携による福祉人材バンクの設置、運営

行政の役割

- ・高齢者等への健康づくり等の出前講座へ職員派遣及び情報の提供
- ・民間事業所への講師派遣等の仕組みづくり



健康づくり講座

第3場 防災との連携

お年寄りの見守りのことから、災害時の避難について話が広がっている。

- 区長 こないだの防災の日には、みんな参加してくれてよかった。
- 区民1 でも、昼間おるのはおおかた年寄りばかり！
年寄りの人にも、消火器や消火栓の使い方を知っといてもらえると助かります。
- 区民2 ある区では、自主防災組織をつくって消防団と一緒に、いろいろ訓練をしているそうです。
- 区民3 防災意識は、防犯意識。それに、普段の見守り活動ともつながります。災害の時のことも考えましょう。

住民の役割

- ・ 自主防災の必要性認識及び訓練の工夫
(世代・住民間交流へとつなげる)
- ・ 地区消防団との連携

個人は災害時に
備え、非常食等
を準備する。

社協の役割

- ・ 災害時ボランティアセンターの
運営と住民との連携
- ・ 災害時ボランティアの育成と啓発
- ・ 災害時ボランティアセンター
マニュアルの作成

行政の役割

- ・ 自主防災に関する啓発、支援



防災訓練

第4場 災害時要援護者避難支援計画との連動

高齢者一人暮らしのハナさん、ウメさん、キクさん達がこの間の台風のことで、茶のみ話をはじめました。

ハナさん あん時は、雨・風が強くて恐ろしかった。

ウメさん 一人で住んだると災害の時に心配とたいね～。

キクさん ウメさんは近くに親戚の人がおらずけん、なんかあっても安心だろばってん。

ハナさん うちんところじゃ、隣りの人が、なんかあったら背おうてでも一緒に避難するて言うてくれとらす。

ウメさん そりゃ～よかね～。うちも近所の人に相談してみよか～。

住民の役割

- ・ 日常の見守り活動（小地域ネットワーク活動）の実施による避難体制の整備及び情報の共有
- ・ 防災訓練などの実施

社協の役割

- ・ 小地域ネットワーク活動への取り組み支援
- ・ 防災訓練への協力
- ・ 大津町地域防災計画への参画
- ・ 日赤活動への協力

行政の役割

- ・ 個人情報の取り扱いのガイドラインの作成
- ・ 災害時要援護者避難支援計画の推進
- ・ 最新情報の提供

第5場 ユニバーサルデザインとの関連

大津の商店街に用事で来たお年寄りがベンチで休憩中。
一人は手押し車を持っている。

お年寄り1 久しぶりにまちに来たけど、何か変わったな～。

お年寄り2 そぎゃん、前は段差ばかりで手押し車なんか使えんかった。

お年寄り3 店の入り口も入りやすいように斜め(スロープ)になっとる。

一同 そういえば、こんベンチも、ちょっと休むとに良かばい。

お年寄り1 孫が言いよった。ユニバーサルデザインて、こぎゃんことたい。

※ユニバーサルデザインとは

年齢・性別・障がいの有無に関係なく誰もが使いやすい道具や施設等への工夫のこと

住民の役割

- ・自分の家の中でのユニバーサルとはなにかを家族全員で考えたり探したりしてみる。(家族間の会話を活発にさせる)
- ・公民館等での段差解消や洋式便座、手すり等の設置



多々良区で設置された洋式便座

社協の役割

- ・座談会での意識啓発
- ・福祉学習講座の開催

行政の役割

- ・バリアフリー新法に関する広報、啓発
- ・民間建物改修の促進

第6場 移動手段の確保

ある地区の座談会にて、地区の心配事、困り事について話し合い中。

区民1 うちん区は助け合いも出来とるし、そぎゃん困っとらんな～。

区民2 ばってん、あと10年もしたら、車の運転もできない人が増えてきますよね～。

区民3 私もあと20年したら…。

区民2 そんな時、買い物や病院行きはどうなるとやろ？

区民1 バスや乗り合いタクシーのことなど考えんといかんな～。

住民の役割

- ・地域の会合で利用の仕方の整理


社協の役割

- ・住民相互の相乗り運動の実施
- ・福祉車両の活用方法の検討
- ・買い物ボランティア等の検討
- ・地元業者との商品注文配達システムの検討

行政の役割

- ・交通に関するアンケート実施
- ・乗り合いタクシーを含め総合的な交通体系の検討





**第4部
計画の進め方と
評価**

第4部 計画の進め方と計画評価

計画の進め方および進捗状況の評価の方法をまとめる。

第1幕 計画の進め方と推進体制

- 第1場 小地域福祉活動推進地区の今後についての話し合い
- 第2場 小地域福祉活動推進地区からの広げ方
- 第3場 社会福祉協議会の役割と取り組み方
- 第4場 社会福祉協議会の体制強化
- 第5場 社会福祉協議会の在宅福祉支援事業

第2幕 計画の評価と改めの仕組み

- 第1場 策定委員会にて、評価方法
- 第2場 評価項目

第1幕 計画の進め方と推進体制

第1場 小地域福祉活動推進地区の今後についての話し合い

小地域福祉活動推進地区のホリダシ区で今年度の反省会が開かれている。

推進委員1 活動も軌道に乗ってきました。少しずつ意識が広がってきているようです。

推進委員2 来年からは3ヶ月に一回ぐらい集まれば良かござるです。

区民1 各団体からの活動と今後の予定を報告しあって、調整するとよか。

区民2 それと必要に応じてテーマを決めて話し合おう。

区長 あと、区民の人への広報が大事。回覧板を工夫しよう。

住民の役割

- ・地域福祉活動の継続及び実施
- ・他地区への広報に関する事例紹介等

社協の役割

- ・活動継続のための定期的な地域訪問（各地区3回/年）
- ・活動事例の収集と紹介（随時）
- ・活動地区交流会の開催（1回/年）
- ・メニュー事業による今後の活動支援のための助成金交付（地域住民交流事業、小地域ネットワーク事業、ふれあいサロン活動、座談会）

行政の役割

- ・地域福祉推進事業に関する社協支援
- ・小地域福祉活動推進地区への人的支援（地区担当職員、代表職員の協力）
- ・地域づくりに関する情報提供（まちづくり基本条例及び地域通貨「水水」等の周知）

第2場 小地域福祉活動推進地区からの広げ方

ある区の公民館。小地域福祉活動推進地区のホリダシ区から講師を招き、講演会が開かれ、その後の会議にて。



- 区民1 ホリダシ区も、最初はどのようにいいかわからなかったたい。
- 区民2 でも、ホリダシ区でできたことが、うちの区でできんことはなか！
- 民生委員 民生委員の研修でも、座談会の手引きのことや、社協・役場職員の応援のことを聞きました。
- 区長 まず、社協・役場に相談してみようか。
これからうちん区でも支え合いは必要になるけん。

住民の役割

- ・小地域福祉活動推進地区への理解と住民座談会の開催

社協の役割

- ・地域福祉推進懇談会（小地域福祉活動地区の活動への理解促進）の実施（2回/年）
- ・小地域福祉活動推進地区を指定し行政区単位で活動を支援する（3地区/年）
- ・小地域福祉活動導入のためのマニュアル作成（毎年更新）
- ・地域福祉推進委員を全行政区に設置（平成26年度）
- ・地域福祉推進委員研修会の開催（3回/年）

行政の役割

- ・区長への周知
- ・座談会への参加（関係担当職員等）
- ・広報活動の推進

第3場 社会福祉協議会の役割と取り組み方

社会福祉協議会の新人職員は先輩職員と〇〇年度の事業計画書を考えている。



新人 センパイ！社協の全体像と事業体系はどうなっているんですか？教えてください。

先輩1 社協は、社会福祉法第109条で……。

新人 それで、皆が力を合わせる協議会と言うとですね。

——先輩職員2がセンパイカゼを吹かす。

先輩2 だから、座談会とかで地域福祉を進めていくとたい。地域福祉推進が社協の役割。小地域福祉活動推進地区で始めたワークショップをもっと広げていくこと！

——先輩職員たちが右のような図をまとめた。

住民の役割

- ・地域福祉推進への理解と協力（主体的な参加）

社協の役割

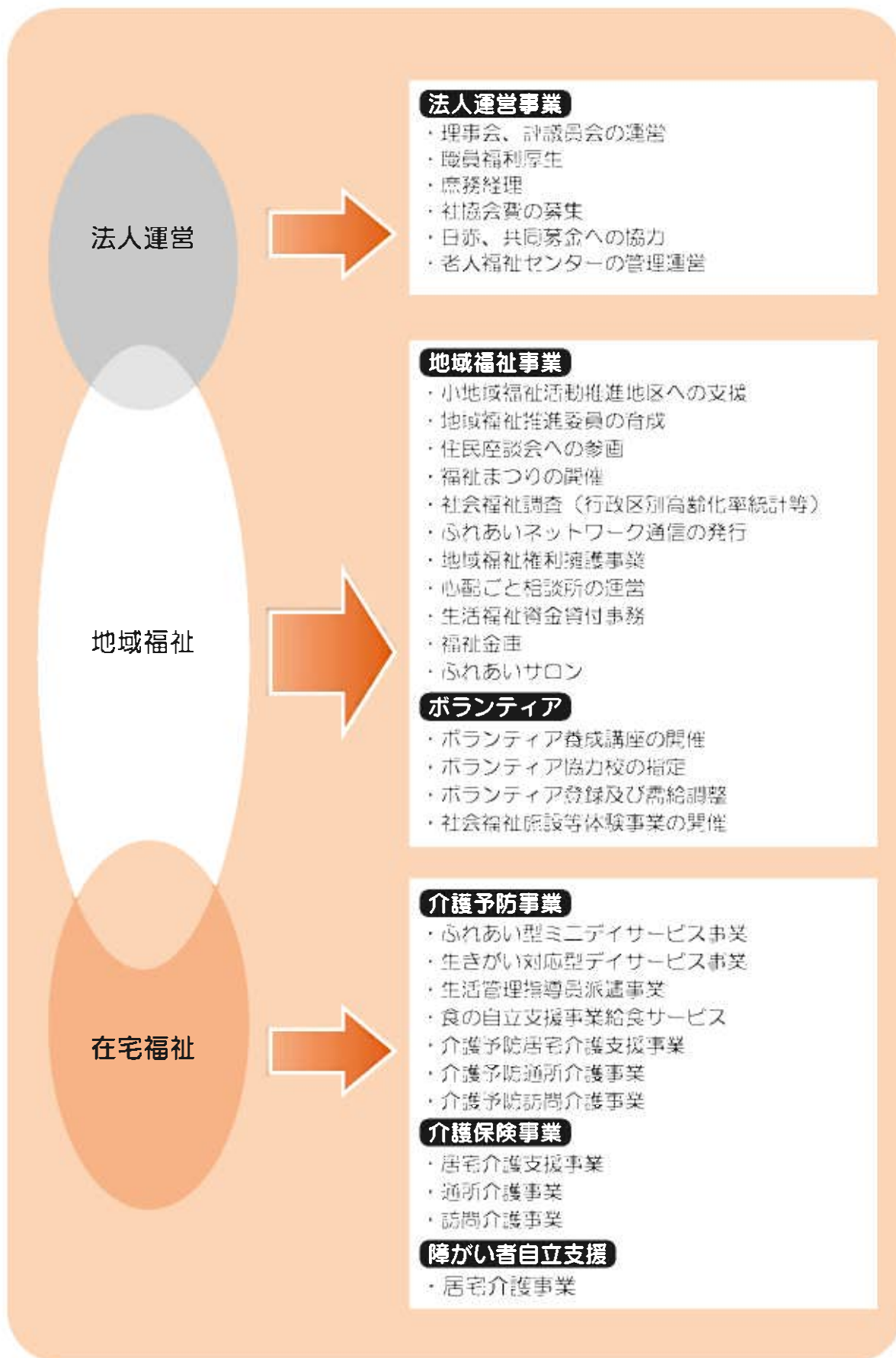
- ・地域福祉推進委員の設置や小地域での住民座談会の開催を通して、地域住民による各種の福祉活動の実践を促す。
- ・地域援助と目の前にあるすぐ解決すべき福祉課題（生活課題）を在宅福祉サービスの提供実施で解決することによって、地域福祉の推進を図る。
- ・地域福祉推進の中核（大黒柱）としての役割発揮
- ・生活課題を主眼に置いた連携による支援

※社会福祉法109条（社会福祉協議会の役割）

- 1.社会福祉を目的とする事業の企画および実施
- 2.社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- 3.社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整および助成
- 4.社会福祉を目的とする事業の健全な発展を図るために必要な事業

行政の役割

- ・社協事業の支援、協働した取り組み（地域福祉活動コーディネーター等の整備、事業費の継続支援）



第4場 社協の体制強化

社協の事務所がある老人福祉センターのロビーにて、町の人と社協職員の会話。



- お年寄り** あーたたちがまだすなー。おかげでサロンや見守りネットワークやら、区での支えがよーなった。
- 子育てパパ** 子育てサロンで子育て中の人との知り合いが増えて、いろんな情報交換ができました。
夫婦で子育ての悩みが少なくなりました。
- お二人** 社協のおかげです。
- 社協職員** そんな言葉が私たちのはげみです。
そう言っていただけるよう、職員体制も整え社協もがんばります。
- お年寄り** 会費も納めがいがあるようがんばらなせ。

住民の役割

- ・社協活動や事業への理解と協働
- ・会費や共同募金、寄付への協力

社協の役割

- ・社協会費の増額
(特に賛助会費、特別会費の増額)
- ・地域福祉担当職員の体制強化
(特に地域福祉権利擁護事業担当職員の配置)
- ・赤い羽根共同募金への協力
- ・地域福祉振興基金の創設

行政の役割

- ・社協活動への支援及び連携

第5場 社協の在宅福祉支援事業の今後（その1 相談支援）

新人職員が先輩職員に興奮気味に報告している



新人 きこのう座談会で『これから相談ごとがあったら、あんたに電話するね』と
いってもらいました。

先輩 そりゃよかった。そぎゃんして、顔ばおぼえてもらうことが、役に立つ社
協になる道！
もう「新人」は卒業のごたる。

住民の役割

- ・相談窓口の利用
- ・民生委員、地域福祉推進委員、区長等から相談窓口紹介

社協の役割

- ・心配ごと相談員と地域包括支援センター、行政機関との連携
- ・全ての職員の連携によりあらゆる相談に対応できるよう研修を行う

行政の役割

- ・行政相談窓口の充実、広報

第5場 社協の在宅福祉支援事業の今後 (その2 在宅福祉サービス事業)

社協のホームヘルパーの定例会議にて、新人ヘルパーとベテランヘルパーの会話。



新人 社協がする在宅事業は、民間の介護保険事業所とはどう違いがあるのでしょうか？

ベテラン ボランティアセンターやら小地域福祉活動推進地区での支え合い活動なんかとつながりを図ることだろね～
それとこれからは、健康づくりや生涯学習とつないで介護予防に力を入れることも大事。

住民の役割

- ・在宅福祉サービスの活用
- ・在宅福祉に関するニーズ、意見等の関係機関等への伝達

社協の役割

- ・民生児童委員との連携によるサービス提供
- ・介護予防事業（生活管理指導員派遣事業、生きがい対応型デイサービス事業、給食サービス、ミニデイサービス）と地域住民の小地域活動との連携によるサービス提供
- ・他事業者の参入の困難な介護予防事業や障がい者居宅介護事業と介護保険事業との一体的経営

行政の役割

- ・介護予防事業での連携

第2幕 計画の評価と改めの仕組み

第1場 策定委員会にて、評価のこと

策定委員長からの提案が出され、事務局も納得。



策定委員会風景

- 委員長** 計画書の案が出来ましたが、これからが大事になります。
作っただけにならないように、この策定委員会で進み具合を確かめるようにしましょう。
- 委員1** 前年度の報告をしていただき、委員会で評価したらどうでしょう？
そして、その年度を、どう進めるかの計画を報告してもらおう。
- 委員2** どの区がどんな取り組みをしているか、ちゃんと把握して、それを他の地区にも伝えていかないと広がりません。
- 委員3** 住民は住民で、自分の区の地域福祉実践活動を評価していただくといいのではないのでしょうか？

住民の役割

- ・各行政区で、地域福祉実践活動（サロンや見守りネットワーク、福祉学習会の開催状況、住民意識の変化等）の活動状況を振り返り、次年度に活かす

社協の役割

- ・小地域福祉活動推進地区での取り組み状況把握、整理、分析

行政の役割

- ・行政各課での関連施策の進捗状況の把握及び連携、改善
- ・策定委員会（推進委員会）の各年度開催

第2場 策定委員会はずづく（評価方法）

委員からの意見が続く。

- 委員4 ところで、何をどう評価したらいいんでしょう？
- 委員5 計画の柱が3本ある。それごとに評価していけばいいのではないのでしょうか。
- 委員6 数値目標は必要だが、数字合わせにならんよう気をつけないといけません。この計画は中身や経緯が大変重要になる。
- 委員7 大津は小地域福祉活動推進地区を中心にしています。これを進めていくことです。
- 委員8 それと、人材育成、人の気持ち・意識が変わることが一番の財産になっていきます。
近所での支え合い、障がいへの理解、認知症や介護予防への対応なども進めていくべきです。
- 委員長 こうして皆さんの意見をいただいたことが、『わがまち大好き！』につながっていくと思います。
これからは委員の皆さんも実践者の一人です。
みんなで『大^らおつだい²作戦！』を進めましょう。

評価項目の設定(計画の3つの柱に即して)

項 目	目標・取り組み状況
(住民)地域福祉実践活動	平成26年度までに小地域福祉活動推進地区（20地区） 地域福祉推進委員（全地区に配置） ふれあいサロン（22箇所設置）
支え合いを担う人材とネットワークづくり	サロン養成講座やボランティア養成講座等により 町人口の10%をボランティア登録 ボランティアセンターを平成21年度までに設置 ボランティア連絡協議会を平成22年度までに設置
地域福祉の幅広い展開	災害時要援護登録者を500人程度 福祉関係機関以外との連携強化

大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定にかかわる、 大津町行政施策への地域福祉ニーズの反映方法

大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定を、大津町振興総合計画の策定と
大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に関わった時の地域住民からの福祉ニーズを集約して、
大津町振興総合計画の見直し時期や策定時期に、地域住民の福祉ニーズを効果的に反映することができる。

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
第4次 第5次大津町振興総合計画(基本構想)										第6次大津町振興総合計画			
H18.3 前期基本計画				H23.3 見直し		H23.4 後期基本計画				H28.3 策定時期		H28.4 前期基本計画	
策定時期				見直し		策定時期				策定時期		策定時期	
実施計画(ローリング方式)				実施計画(ローリング方式)		実施計画(ローリング方式)				実施計画(ローリング方式)		実施計画(ローリング方式)	

最初は、座談会の実施
地区が少ないため2年
間をかけて住民の福祉
ニーズを集約する。



平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
第1次大津町地域福祉計画(行政計画) 第1次大津町地域福祉活動計画(社協計画)										第2次大津町地域福祉計画 第2次大津町地域福祉活動計画		
H18.3 前期計画			H21.3 策定時期		H21.4 後期計画				H27.3 策定時期		H27.7 前期計画	
事前協議			策定時期		策定時期				策定時期		策定時期	

地域福祉推進事業
地域福祉推進モデル地区
1地区 2地区 3地区 4地区 5地区 6地区 7地区 8地区 9地区 年3地区程度拡大
森区 森区 森区
栄基区 栄基区
多々良区 多々良区
大津東区(次田河地)
幸移水地区(蒸場、つづじ台、横丘)

＜参考：福祉関係行政計画＞

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
大津町老人保健福祉計画 及び介護保険事業計画 第3期				大津町老人保健福祉計画 及び介護保険事業計画 第4期				大津町老人保健福祉計画 及び介護保険事業計画 第5期				
策定時期				策定時期				策定時期				
大津町障害者基本計画 見直し						大津町障害者基本計画 策定時期						
大津町障害者福祉計画 第1期						大津町障害者福祉計画 第2期						
策定時期						策定時期						
障害者自立支援法に基づく新たなサービス体系への移行終了												
大津町次世代育成支援計画 見直し					大津町次世代育成支援計画 見直し							
見直し					見直し							
大津町健康づくり推進計画 見直し					大津町健康づくり推進計画 見直し							
見直し					見直し							

大津町地域福祉計画・活動計画策定委員会 委員名簿

No	氏名	役職	所属	選出区分	備考
1	渡田 輝一	教授	九州看護福祉大学 看護福祉学部 リハビリテーション学科 学科長	学識経験者	
2	岩倉雄一郎	会長	菊池郡市医師会	医療関係	
3	山東 繁幸	会長	区長会	住民組織代表	
4	新開 則明	委員長	町議会 文教厚生常任委員会	議員代表	
5	吉田 和信	会長	民生児童委員協議会	地域福祉推進団体関係	副委員長
6	松田 健	施設長	知的障害者施設 三気の里	社会福祉施設関係	
7	大塚 洋治	施設長	知的障害者施設 大津あゆみ園	社会福祉施設関係	
8	河野征之助	施設長	知的障害者施設 つくしの里	社会福祉施設関係	
9	宇野 勝彦	副園長	児童福祉施設 一字保育園	社会福祉施設関係	
10	山縣カズヨ	施設長	老人福祉施設 つつじ山荘	社会福祉施設関係	
11	吉永 貞理	保健師	老人保健施設 おおつかの郷	介護保険施設関係	
12	河本 始	会長	老人クラブ連合会	高齢者福祉関係	
13	齋藤 昇	会長	身体障害者福祉会	心身障害児者福祉関係	
14	江口 竜一	代表	NPO法人みんなのおうち	公募	委員長
15	日野 奈美	副理事長	NPO法人子育てサポーターあぼり	公募	
16	伊東 暢子	保護司	保護司会	公募	
17	西本 秀子	理事	更生保護女性会	公募	
18	田中 文典	課長	県保健福祉環境部福祉課	菊池地域振興局	
19	徳永 保則	部長	企画部	行政	
20	大塚 武年	部長	教育委員会 教育部	行政	
21	松永 高春	部長	福祉部	行政	事務局兼
22	尾田 一広	事務局長	社会福祉協議会	地域福祉推進団体関係	事務局兼

※敬称略 平成21年3月現在

大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画

平成21年3月（2009年）

策定：大津町・法大津町社会福祉協議会
協力：(有)ひとちいき計画ネットワーク
